

Sa Saki

クラブ活動計画書

平成 21 年 7 月

2009～2010年度



RI 第2780地区

大和中ロータリークラブ

会 長 高 橋 清 幹 事 飯 田 豊 太

2009～2010年度

クラブ活動計画書

平成21年 7 月

2009～2010年度 国際ロータリーテーマ



『ロータリーの未来は
あなたの手の中に』

RI 会長 ジョン・ケニー

第2780地区 奥津 光弘 ガバナー 方針

- 1) ポリオを撲滅する
- 2) ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める
- 3) 他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る
- 4) 質的にも量的にも会員組織を世界的拡大する
- 5) ロータリー独特の職業奉仕への取組を強調する
- 6) 国際ロータリーの指導的才能を最大限活用し、育成する
- 7) 組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために長期計画の手順を完全に実施する

大和中ロータリークラブ 高橋 清 会長ターゲット

「親睦と奉仕、広げようロータリーの輪」

大和中ロータリークラブ

会 長 高橋 清

幹 事 飯田 豊太

事務局 大和市大和南2丁目1番1号
〒242-0016 大和中央ビル301

例会場 八千代銀行大和支店4F

T E L 046-262-1717

F A X 046-262-1818

E-mail naka-rc@marv.mediatti.net

2009～2010年度

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	4～12
大 和 市 略 図	12
会 計	13～15
委員会活動計画	16～37
クラブ管理運営委員会	16
(イ) クラブ会報委員会	16
(ロ) プログラム委員会	17
年間プログラム予定表	18～25
(ハ) 親睦活動委員会	26
(ニ) スマイルボックス担当	26
(ホ) 出 席 担 当	27
会員増強・退会防止委員会	28
(イ) 職 業 分 類 担 当	28
(ロ) 会 員 選 考 担 当	28
職業分類一覧表	29～31
会場監督 (S A A)	32
奉仕プロジェクト委員会	33
(イ) 職 業 奉 仕 委 員 会	33
(ロ) 社 会 奉 仕 委 員 会	34
(ハ) 国 際 奉 仕 委 員 会	34
(ニ) 姉妹クラブ友好担当	35
(ホ) 新世代育成委員会	36
ロータリー財団委員会	36
(イ) 米 山 奨 学 委 員 会	36
クラブ広報委員会	37
(イ) 広 報 雑 誌 委 員 会	37
(ロ) I T 委 員 会	38
(ハ) ロータリー情報委員会	38
(別表)	
(1) 役員・理事・委員会一覧表	39
(2) 大和中ロータリークラブ会員名簿	40～42
(3) 歴代会務分担表	43～46
(4) 退会者名簿	47～50
(5) 大和中ロータリークラブ クラブ運営規定集 (定款・細則・内規)	51

会 長 高 橋 清

「親睦と奉仕、広げようロータリーの輪」

20世紀初頭のシカゴの街、青年弁護士ポール・ハリス、友人3人と語らって仕事上の付き合いが親友関係に発展。仲間を増やしたいと思いロータリークラブという会合を考えた。そして1905年2月23日ロータリークラブが誕生し、早や104年を迎えました。我々クラブも創立32年目を迎えます。ロータリーの創立時を思い起して創立原点に戻って会員同士の親睦を深めると共に多くの奉仕につなげてロータリーの輪を広げて参ります。私達の長いクラブの歴史の中で未来を担う青少年へ夢を与えるために力を注いで参ります。会員増強はクラブ活性化の源であり一人でも多くの会員の増強に寄与することが使命です。地域社会が今、ロータリーに何を求めているか、そのニーズを適格につかんで地域にあった奉仕活動に専念することによりロータリーの地域での深まりが増すことを信じております。

今年度はガバナーズクラブの前年度であり重要な年になり、国際大会がカナダ・モントリオールで開催され多くの会員の参加を頂き、国際交流の更なる発展に努力して参ります。

「親睦と奉仕、広げようロータリーの輪」を目標にして会員皆様のご協力を頂き、一年間全力投球して参りますのでよろしくお願い致します。

- ・ 未来を担う青少年に夢を
- ・ 会員増強・純増1名以上を
- ・ 地域のニーズに根ざした奉仕を
- ・ 国際交流に更なる充実を
- ・ ガバナーズクラブ年度への協力を
- ・ 国際大会（カナダ・モントリオール）への参加を
- ・ ロータリー財団寄付1人180ドル以上の協力を
- ・ 米山奨学会寄付1人2万円以上の協力を

幹 事 飯 田 豊 太

会長の運営方針に沿って、そのターゲットが実現出来るよう、幹事としての業務を全力にて努める決意です。会員皆様の御指導御協力を宜しくお願いいたします。

会 務 報 告

幹 事 飯 田 豊 太

1. クラブの沿革

創 立 総 会
R. I. 承 認
チャーターナイト
(認証状伝達式)
スポンサークラブ
特 別 代 表
ガ バ ナ ー
チャーターメンバー
(創 立 会 員)
所 在 地 域
事 務 所

例 会 場

昭和53年 5 月 9 日 (1978年) 於大和市商工会館三階
昭和53年 6 月23日 (1978年)
昭和54年 4 月22日 (1979年) 於厚木基地

大和ロータリークラブ
星 幸 男 氏
細 谷 実 氏
23名

大和市 (別紙)
大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号 大和中央ビル301
電話 046(262)1717 FAX 046(262)1818
・昭和53年 5 月 9 日～昭和56年 6 月30日
大和市商工会館 3 階会議室
・昭和56年 7 月 1 日～昭和63年 4 月30日
(旧) 八千代信用金庫大和支店 4 階会議室
・昭和63年 5 月12日～平成20年 5 月22日
大和グランドホテル 7 階
・平成20年 6 月12日～ 八千代銀行大和支店 4 階会議室
毎週木曜日

2. 会員の種類

正 会 員 39名
名 誉 会 員 0 名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金、年会費一覧表

年 度	人 口(人)	会員数(年度始め)	平均出席率	ビジター及びゲスト数	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	(含仮クラブ) 80名	100,000円	168,000円
53～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57～58年	171,440	42名	99.1 %	519名	100,000円	168,000円
58～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59～60年	174,497	45名	99.74%	656名	100,000円	168,000円
60～61年	176,953	55名	99.23%	634名	100,000円	168,000円
61～62年	179,941	50名	99.48%	585名	100,000円	168,000円
62～63年	183,303	51名	100 %	675名	100,000円	168,000円
63～平成1年	187,564	59名	100 %	651名	100,000円	200,000円
平成1～2年	191,148	60名	99.92%	641名	100,000円	200,000円
2 ～ 3 年	194,696	63名	99.97%	612名	100,000円	230,000円
3 ～ 4 年	197,570	60名	99.83%	619名	100,000円	230,000円
4 ～ 5 年	200,960	60名	99.61%	675名	150,000円	230,000円
5 ～ 6 年	202,169	60名	99.35%	570名	150,000円	250,000円
6 ～ 7 年	203,451	59名	99.48%	534名	150,000円	250,000円
7 ～ 8 年	205,452	58名	99.40%	571名	150,000円	250,000円
8 ～ 9 年	206,165	60名	97.46%	455名	150,000円	250,000円
9 ～10年	207,576	61名	96.42%	401名	150,000円	250,000円
10～11年	208,640	56名	94.04%	445名	150,000円	250,000円
11～12年	210,734	59名	94.22%	452名	150,000円	250,000円
12～13年	212,921	54名	96.69%	411名	150,000円	250,000円
13～14年	214,573	53名	97.60%	343名	150,000円	250,000円
14～15年	216,463	51名	98.00%	346名	150,000円	250,000円
15～16年	218,352	49名	90.58%	202名	100,000円	250,000円
16～17年	220,200	43名	96.22%	148名	100,000円	250,000円
17～18年	220,950	42名	93.06%	71名	100,000円	250,000円
18～19年	222,152	42名	91.47%	58名	100,000円	250,000円
19～20年	223,296	41名	89.52%	40名	100,000円	250,000円
20～21年	225,164	40名			100,000円	230,000円
21～22年	226,924	39名			100,000円	230,000円

4. 年度別クラブ会員入退会者数一覧表

年 度	会 長 名	入会者数	退会者数	増減数	年度末会員数
昭和53年 (1978)	矢 野 久 元	0	1	- 1	22
53～54年 (1978～1979)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	13	7	+ 6	28
54～55年 (1979～1980)	芦 田 敬 治	3	1	+ 2	30
55～56年 (1980～1981)	亀 谷 志 郎	12	2	+ 10	40
56～57年 (1981～1982)	伊 藤 正 男	5	3	+ 2	42
57～58年 (1982～1983)	寺 田 五 六	12	5	+ 7	49
58～59年 (1983～1984)	長谷川 清 一	3	7	- 4	45
59～60年 (1984～1985)	猪 熊 唯 夫	13	3	+ 10	55
60～61年 (1985～1986)	上 田 利 久	2	7	- 5	50
61～62年 (1986～1987)	藤 田 重 成	5	4	+ 1	51
62～63年 (1987～1988)	富 澤 重 徳	11	3	+ 8	59
63～平成1年 (1988～1989)	石 渡 英二郎	4	3	+ 1	60
平成1～2年 (1989～1990)	北 砂 富 三	7	4	+ 3	63
2～3年 (1990～1991)	有 澤 昭 二	2	5	- 3	60
3～4年 (1991～1992)	松 本 忠 明	3	3	0	60
4～5年 (1992～1993)	辻 國 明	4	4	0	60
5～6年 (1993～1994)	伊 藤 英 夫	2	3	- 1	59
6～7年 (1994～1995)	古 木 勝 治	3	4	- 1	58
7～8年 (1995～1996)	高 橋 政 勝	4	2	+ 2	60
8～9年 (1996～1997)	土 屋 翁 三	3	2	+ 1	61
9～10年 (1997～1998)	後 藤 定 毅	2	7	- 5	56
10～11年 (1998～1999)	橋 本 健 彦	3	0	+ 3	59
11～12年 (1999～2000)	中 西 功	2	7	- 5	54
12～13年 (2000～2001)	近 藤 富士男	2	3	- 1	53
13～14年 (2001～2002)	鈴 木 久次郎	5	7	- 2	51
14～15年 (2002～2003)	前 原 一 男	3	5	- 2	49
15～16年 (2003～2004)	長 野 俊 八	1	7	- 6	43
16～17年 (2004～2005)	神 作 彰	1	2	- 1	42
17～18年 (2005～2006)	松 崎 正 実	5	5	0	42
18～19年 (2006～2007)	古 郡 清	2	3	- 1	41
19～20年 (2007～2008)	藤 塚 勝 明	2	3	- 1	40
20～21年 (2008～2009)	梅 田 秀 雄	1	2	- 1	39

5. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 (別表(2))

b) 会員年齢構成 (21年7月1日現在)

40才台	1名	} 計 39名	最 高 齢	88才
50才台	10名		最 年 少	47才
60才台	15名		平 均	65.83才
70才台	9名			
80才台	4名			

c) クラブ在籍年数 (21年7月1日現在)

1年未満	1名	9年以上	1名	18年以上	1名
1年以上	2名	10年以上	1名	19年以上	1名
2年以上	1名	11年以上	0名	20年以上	1名
3年以上	2名	12年以上	0名	21年以上	2名
4年以上	0名	13年以上	0名	22年以上	3名
5年以上	1名	14年以上	0名	23年以上	0名
6年以上	1名	15年以上	1名	24年以上	2名
7年以上	3名	16年以上	1名	25年以上	12名
8年以上	1名	17年以上	0名	計	39名

d) 100%出席会員数 (21年7月1日現在)

28年間	3名	後藤、藤田、高橋(政)	8年間	1名	橋本(日)
27年間	2名	松崎、中西	6年間	1名	青柳
26年間	3名	前原、長野、神作	5年間	1名	鈴木
24年間	1名	古郡	3年間	1名	入江
22年間	2名	藤塚、梅田			
21年間	2名	高橋(清)、飯田			
19年間	1名	石川			
18年間	1名	横澤			
15年間	1名	山崎			
10年間	1名	舘盛			

6. 役員、理事、委員会構成メンバー (別表(1))

7. 理事会・例会・委員会

毎月第二例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

定款第6条第1節(C)により年4回例会を取り止める。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ヶ日は休会とする。

各委員会は、活動打ち合わせのため適時委員会を開催する。

8. クラブ協議会 (クラブアッセンブリー)

- | | | |
|---------|----------------|-------------|
| ① 新年度 | ② ガバナー公式訪問1週間前 | ③ ガバナー公式訪問時 |
| ④ 地区大会後 | ⑤ 12月中 | ⑥ 年度末 |

9. ロータリー財団寄付状況（平成21年5月31日現在）

会 員

○ベネファクター

1	上 田 利 久 君	2	郡 司 守 君	3	中 西 功 君	4	後 藤 定 毅 君
5	高 橋 政 勝 君	6	神 作 彰 君	7	佐 藤 信 夫 君	8	藤 塚 勝 明 君

○マルチプルポールハリスフェロー

1	④藤 田 重 成 君	2	②古 木 勝 治 君	3	④高 橋 清 君	4	④上 田 利 久 君
5	②郡 司 守 君	6	②伊 藤 英 夫 君	7	②北 砂 富 三 君	8	③松 本 忠 明 君
9	③松 崎 正 実 君	10	③長 野 俊 八 君	11	中 西 功 君	12	⑦高 橋 政 勝 君
13	②寺 田 五 六 君	14	②番 桂 柳 君	15	石 田 忠 良 君	16	②梅 田 秀 雄 君
17	②前 原 一 男 君	18	③後 藤 定 毅 君	19	藤 塚 勝 明 君	20	②佐 藤 信 夫 君
21	②館 盛 道 明 君	22	神 作 彰 君	23	石 川 健 次 君	24	山 崎 賢 二 君
25	古 郡 清 君	26	横 澤 創 君				

○ポールハリスフェロー

1	松 本 千 枝 夫人	2	後 藤 歩さん	3	飯 田 豊 太 君	4	岸 幸 博 君
5	青 柳 文四郎 君	6	塙 満 子 君				

○準フェロー

1	前 原 一 男 君	2	神 作 彰 君	3	梅 田 秀 雄 君	4	飯 田 豊 太 君
5	石 川 健 次 君	6	寺 田 五 六 君	7	横 澤 創 君	8	藤 田 重 成 君
9	北 砂 富 三 君	10	岸 幸 博 君	11	長 野 俊 八 君	12	石 田 忠 良 君
13	松 崎 正 実 君	14	高 橋 清 君	15	後 藤 定 毅 君	16	藤 塚 勝 明 君
17	古 郡 清 君	18	松 本 忠 明 君	19	高 橋 政 勝 君	20	上 田 利 久 君
21	館 盛 道 明 君	22	郡 司 守 君	23	伊 藤 英 夫 君	24	山 崎 賢 二 君
25	番 桂 柳 君	26	橋 本 日 吉 君	27	塙 満 子 君	28	佐 藤 信 夫 君
29	小 柳 智 裕 君	30	鈴 木 洋 子 君	31	中 島 康次郎 君	32	梅 野 房 子 君
33	青 柳 文四郎 君	34	古 木 勝 治 君	35	原 島 賢一郎 君	36	北 島 照 介 君
37	中 西 功 君						

(元会員・会員夫人)

○ベネファクター

1	芦田敬治君	2	長谷川清一君	3	辻國明君
---	-------	---	--------	---	------

○マルチプルポールハリスフェロー

1	②亀谷志郎君	2	⑧長谷川清一君	3	松本三郎君	4	⑥芦田敬治君
5	②有澤昭二君	6	二見長幸君	7	児玉清君	8	②鈴木久次郎君
9	土屋翁三君	10	辻國明君	11	富澤重徳君	12	橋本健彦君
13	②近藤富士男君	14	長谷川清君	15	蒔田誠三郎君		

○ポールハリスフェロー

1	矢野久元君	2	伊藤正男君	3	布施光雄君	4	細野順造君
5	竹之内弘美君	6	保田達君	7	石渡みよ子君	8	猪熊唯夫君
9	佐藤正勝君	10	茅根勉君	11	清水洋三君	12	木村誠二君
13	加藤眞義君	14	本田博司君	15	上村幹雄君	16	石渡英二郎君
17	柿本伊佐男君	18	古田土勝美君	19	小林勇君	20	竹原繁男君
21	依田儀一君	22	牧野弘君	23	目黒雄介君	24	小野孝男君
25	村松令隆君	26	蒲生文衛君	27	鈴木博士君	28	菊池康公君
29	棕茂廣君						

○準フェロー

1	三浦泰之君	2	池田武和君	3	小島健一君	4	古川巖君
5	竹本正俊君	6	千田徹君	7	原田穆君	8	古田土勝美君
9	岩田一夫君	10	上村幹雄君	11	棕茂廣君	12	竹原繁男君
13	石渡英二郎君	14	星輝明君	15	依田儀一君	16	山下精一君
17	山口敏彦君	18	迫田洋一郎君	19	薩田信次郎君	20	中稲隆次君
21	蒲生文衛君	22	中村彰君	23	佐々木万次郎君	24	加藤眞義君
25	菊地康公君	26	木村誠二君	27	児玉清君	28	土屋翁三君
29	橋本健彦君	30	佐藤伴道君	31	村松令隆君	32	阿部豪一君
33	近藤富士男君	34	本多博司君	35	鈴木久次郎君	36	長谷川清君
37	鈴木博士君	38	小倉弘君	39	高橋潔君	40	間山進也君
41	水落悟君	42	工藤俊治君	43	有澤昭二君	44	芦田敬治君
45	疋田哲夫君	46	小林勇君	47	牧野弘君	48	蒔田誠三郎君
49	目黒雄介君	50	中島繁男君	51	小野孝男君		

10. 米山奨学金寄付状況（平成21年5月31日現在）

(1) 会 員

○米山功労者 マルチプル

1	⑥郡 司 守 君	2	⑤藤 田 重 成 君	3	⑥松 崎 正 実 君	4	⑤長 野 俊 八 君
5	⑤寺 田 五 六 君	6	④高 橋 政 勝 君	7	③伊 藤 英 夫 君	8	③松 本 忠 明 君
9	③藤 塚 勝 明 君	10	③後 藤 定 毅 君	11	④神 作 彰 君	12	②前 原 一 男 君
13	③梅 田 秀 雄 君	14	④高 橋 清 君	15	②中 西 功 君	16	②古 郡 清 君
17	③館 盛 道 明 君	18	⑤佐 藤 信 夫 君	19	③上 田 利 久 君	20	③山 崎 賢 二 君
21	③青 柳 文四郎 君	22	②石 川 健 次 君				

○米山功労者

1	古 木 勝 治 君	2	石 田 忠 良 君	3	飯 田 豊 太 君	4	番 桂 柳 君
5	岸 幸 博 君	6	横 澤 創 君				

○準米山功労者

1	茂 木 諄 三 君	2	中 島 康次郎 君	3	鈴 木 洋 子 君	4	梅 野 房 子 君
5	入 江 公 敏 君						

(2) 元会員

○米山功労法人

1	聖 和 電 設 (株) (古田土勝美君)	2	車 体 工 業 (株) (清水洋三君)	3	株式会社日本コンピューターユーセイジ (辻 國明君)
---	-------------------------	---	------------------------	---	-------------------------------

○米山功労者 メジャードナー

1	②⑦長谷川 清一 君
---	------------

○米山功労者 マルチプル

1	⑥芦 田 敬 治 君	2	④長谷川 清 君	3	③有 澤 昭 二 君	4	③布 施 光 男 君
5	③橋 本 健 彦 君	6	③大 高 安 男 君	7	③富 澤 重 徳 君	8	③石 渡 英二郎 君
9	③上 村 幹 雄 君	10	③迫 田 洋一郎 君	11	③土 屋 翁 三 君	12	②近 藤 富士男 君
13	②村 松 令 隆 君	14	③鈴 木 久次郎 君				

○米山功労者

1	松 本 三 郎 君	2	小 島 建 一 君	3	薩 田 信次郎 君	4	本 田 博 司 君
5	加 藤 眞 義 君	6	蒔 田 誠三郎 君				

11. 青少年育成基金 500,000円（平成15年 3 月） 故長谷川清一君ご遺族
 200,000円（平成15年 5 月） 藤田重成君
 100,000円（平成15年 6 月） 後藤定毅君
 36,000円（平成15年 7 月） ゴルフ同好会
 100,000円（平成15年10月） 故芦田敬治君ご遺族
 16,000円（平成16年 6 月） ゴルフ同好会
 20,000円（平成17年 3 月） 大和中ロータリークラブ有志
 100,000円（平成18年 6 月） 後藤定毅君
 50,000円（平成21年 4 月） 藤田重成君

12. 歴代会務分担表（別表(3)）

13. 大和中ロータリークラブ運営規定集（定款・細則・内規）

14. 2009～2010年度地区委員

2010～2011年
 カバナーエレクト 後藤 定毅
 地区危機管理委員 後藤 定毅
 地区広報委員 石川 健次
 国際奉仕副委員長 藤塚 勝明
 地区大会実行委員長 高橋 政勝
 地区幹事 藤塚 勝明

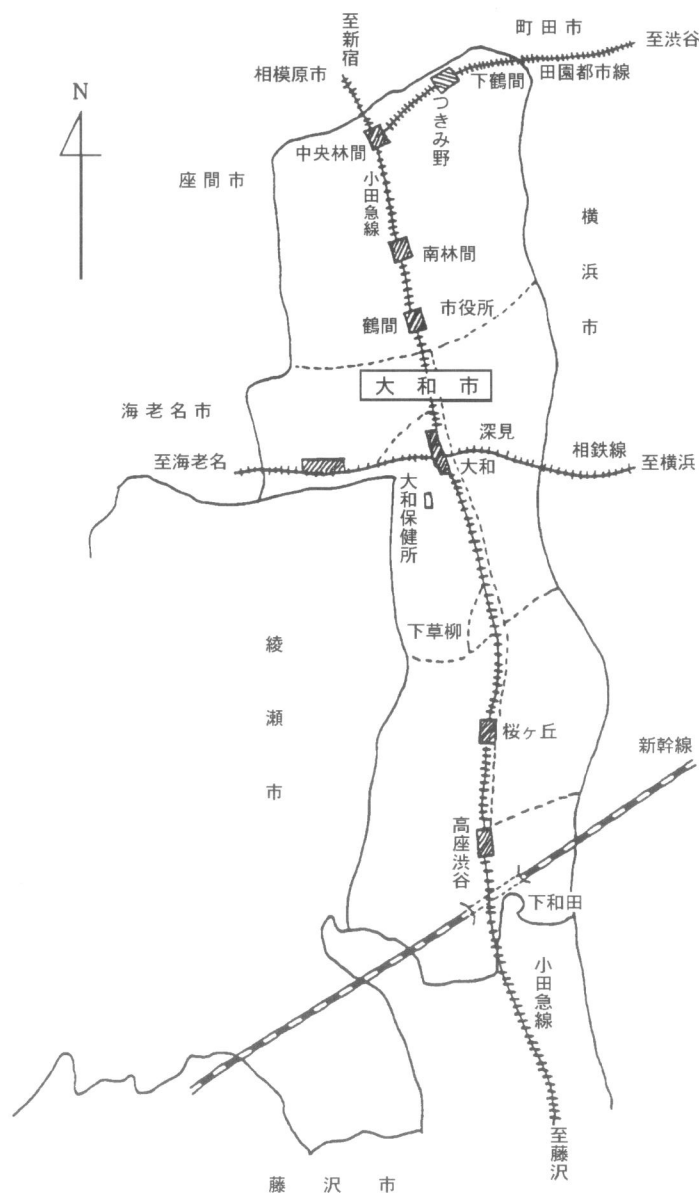
15. 歴代ガバナー・分区代理・会長・幹事名（敬称略）

年 度	ガ バ ナ ー	分 区 代 理	会 長	幹 事
昭 和 53 年 (1978)	細 谷 実 (藤沢北)	第359地区第6分区 松 村 松太郎 (座間)	矢 野 久 元	長谷川 清 一
53 ～ 54 年 (1978～1979)	蔵 並 定 男 (鎌倉)	第259地区第6分区 富 田 清次郎 (相模原南)	矢 野 久 元 蜂 屋 良 平	長谷川 清 一
54 ～ 55 年 (1979～1980)	伊 藤 茂 (相模原中)	塚 本 勉 (大和)	芦 田 敬 治	北 砂 富 三
55 ～ 56 年 (1980～1981)	加 藤 進 治 (横浜)	斎 藤 隆 寿 (座間)	亀 谷 志 郎	富 澤 重 徳
56 ～ 57 年 (1981～1982)	渡 辺 嘉造伊 (川崎南)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	伊 藤 正 男	辻 國 明
57 ～ 58 年 (1982～1983)	加 藤 宗兵衛 (伊勢原)	小 沢 睦 (大和)	寺 田 五 六	郡 司 守 明 辻 國 明
58 ～ 59 年 (1983～1984)	加 島 淳 (横浜磯子)	第259地区第11分区 大 岩 真 (厚木)	長谷川 清 一	古 木 勝 治
59 ～ 60 年 (1984～1985)	津 田 進 (川崎北)	亀 谷 志 郎 (大和中)	猪 熊 唯 夫	伊 藤 英 夫
60 ～ 61 年 (1985～1986)	上 野 良 一 (横浜中)	真 崎 勇 (座間)	上 田 利 久	近 藤 富士男
61 ～ 62 年 (1986～1987)	小 林 亮 (相模原)	会 田 国 喜 (厚木中)	藤 田 重 成	土 屋 翁 三
62 ～ 63 年 (1987～1988)	岡 崎 全 宏 (横浜南)	川 島 熊 平 (大和)	富 澤 重 徳	高 橋 政 勝
63 ～ 平成 1 年 (1988～1989)	谷 口 栄 (横浜東)	大 貫 嘉 一 (厚木)	石 渡 英二郎	松 本 三 郎
平成 1 年～ 2 年 (1989～1990)	濱 田 勝 彌 (伊勢原)	第278地区第5分区 土 橋 亘 (大和田園)	北 砂 富 三	後 藤 定 毅
2 ～ 3 年 (1990～1991)	古 館 誠 (鎌倉大船)	第278地区第6分区 大 矢 晴 行 (大和)	有 澤 昭 二	中 西 功
3 ～ 4 年 (1991～1992)	山 道 昭 彦 (藤沢)	第2780地区第6分区 黄金井 一 太 (厚木)	松 本 忠 明	長 野 俊 八
4 ～ 5 年 (1992～1993)	生 沼 富 治 (小田原北)	手 塚 正 夫 (座間中央)	辻 國 明	前 原 一 男
5 ～ 6 年 (1993～1994)	山 本 淳 正 (逗子)	芦 田 敬 治 (大和中)	伊 藤 英 夫	神 作 彰
6 ～ 7 年 (1994～1995)	神 崎 正 陳 (茅ヶ崎湘南)	世 古 晴 次 (海老名)	古 木 勝 治	古田土 勝 美
7 ～ 8 年 (1995～1996)	真 崎 勇 (座間)	三 河 政 夫 (座間中央)	高 橋 政 勝	上 村 幹 雄
8 ～ 9 年 (1996～1997)	河 本 親 秀 (大磯)	石 川 範 義 (厚木中)	土 屋 翁 三	松 崎 正 実
9 ～ 10 年 (1997～1998)	小 山 計 玄 (伊勢原)	山 下 恵 代 (座間)	後 藤 定 毅	古 郡 清
10 ～ 11 年 (1998～1999)	後 藤 忠 雄 (横須賀南)	道 岸 唯 一 (大和)	橋 本 健 彦	藤 塚 勝 明
11 ～ 12 年 (1999～2000)	中 山 達二郎 (綾瀬)	加 藤 一 郎 (厚木)	中 西 功	蒲 生 文 衛
12 ～ 13 年 (2000～2001)	小 沢 一 彦 (横須賀)	笠 松 歳 雄 (大和田園)	近 藤 富士男	梅 田 秀 雄
13 ～ 14 年 (2001～2002)	竹 内 万 也 (秦野)	辻 国 明 (大和中)	鈴 木 久次郎	高 橋 清
14 ～ 15 年 (2002～2003)	鹿 島 直 磨 (相模原中)	第2780地区 山 本 淳 一 (厚木)	前 原 一 男	石 川 健 次

年 度	ガ バ ナ ー	ガ バ ナ ー補佐	会 長	幹 事
15 ～ 16 年 (2003～2004)	中 西 功 (鎌倉西)	第2780地区第6グループ 奥 岨 宏 一 (大和)	長 野 俊 八	蒔 田 誠三郎
16 ～ 17 年 (2004～2005)	松 宮 剛 (茅ヶ崎湘南)	山 際 正 道 (座間中央)	神 作 彰	館 盛 道 明
17 ～ 18 年 (2005～2006)	仲 田 昌 弘 (鎌倉中央)	塩 塚 幸 彦 (厚木中)	松 崎 正 実	鈴 木 博 士 明
18 ～ 19 年 (2006～2007)	西 田 隆 (座間中央)	後 藤 定 毅 (大和中)	古 郡 清	横 澤 創
19 ～ 20 年 (2007～2008)	小佐野 圭 三 (横須賀)	吉 岡 敏 (厚木)	藤 塚 勝 明	山 崎 賢 二
20 ～ 21 年 (2008～2009)	山 地 裕 昭 (足柄)	金 知 出 (座間中央)	梅 田 秀 雄	岸 幸 博
21 ～ 22 年 (2009～2010)	奥 津 光 弘 (秦野中)	高 橋 晃 (海老名)	高 橋 清	飯 田 豊 太

16. 姉妹クラブ 大韓民国東慶州 R C (国際ロータリー第3630地区) 昭和58年5月15日締結

大 和 市 略 図



会 計

長野 俊八

当クラブの会計予算は、①一般会計、②奉仕会計、③周年記念事業積立金がありますが、一般会計においては会員数の減少及び世界的に100年に一度と言われる経済状況の難しい時期にあります。従って奉仕会計には、一層の御協力をお願い致します。

1. 本年度の諸会費の内訳及び納入時期は、下記の通りと致します。

(1) 入	会	金	100,000円	入会時に納入
(2) 年	会	費	250,000円	年2回に分割
(3) 周年記念事業積立金			12,000円	年2回に分割
(4) スマイルボックス			12,000円	年2回に分割
(5) 臨時	会	費		随時

上記のうち(2)。(3)の納入日は、それぞれ7月1日および1月1日です。

会費等は現金・小切手の持参もしくは銀行振込で納入してください。

2. 会費等の振込先は下記の銀行口座とします。

銀行名 八千代銀行 大和支店

口座番号 普通預金 0711972

口座名義 大和中ロータリークラブ 会計 長野 俊八

3. 当クラブの2009～2010年度予算は、別紙のとおりとします。

4. 年に2回(前、後期末)半期毎報告書を作成し、全会員に報告致します。また、月次毎の決算を理事会に提出します。

2009～2010年度 一般会計予算

(平成21年 7 月 1 日～平成22年 6 月30日)

(単位 円)

科	目	予 算 額	備 考
収入の部	前年度繰越金	188,063	
	年会費	9,200,000	前期@115,000×39人 後期@115,000×41人
	入会金	200,000	@100,000×2人
	ビジター会費	100,000	
	雑収入	1,500	預金利息等
	合 計	9,689,563	
支出の部	クラブ運営費	例会会費	3,600,000 例会食事代
		理事会費	0 定例理事会賄
		クラブ協議会費	0 クラブ協議会補助
		事務局費	1,056,000 (時給1,200円 交通費13,000/月)×12ヶ月
		事務所賃借料	900,000 @75,000×12ヶ月
		渉外費	400,000 対外慶弔費、会長幹事会、大和まつり/阿波踊り賛助金
		慶弔費	50,000 クラブ内慶弔費
		贈答費	20,000 記念品、お礼等
		通信費	200,000 電話、FAX、郵便切手、銀行諸費用等
		図書費	120,000 「友」、「ザ・ロータリアン」
		印刷費	450,000 クラブ活動計画書、ポケット名簿
		文具費・備品費	500,000 コピーメンテナンス・プリンタリース料、事務用品、文具、消耗品等
		雑費	1,000
		小 計	7,297,000
	クラブ奉仕	出席委員会	70,000 皆出席記念品
		クラブ会報委員会	150,000 印刷費用等
		親睦活動委員会	350,000 家族会補助等
		プログラム委員会	20,000 ゲストスピーカー謝礼等
		広報・雑誌委員会	10,000 資料作成費等
		ロータリー情報委員会	5,000 資料作成費等
		他のクラブ奉仕委員会	5,000
		小 計	610,000
	地区費	地区資金	940,000 前期@11,750×39人、後期@11,750×41人
		地区大会分担金	82,000 @2,000×41人
		地区協議会費	104,000 @8,000×13人
		I・M分担金	82,000 @2,000×41人
		米山記念奨学会	200,000 前期@2,500×39人、後期@2,500×41人
		小 計	1,408,000
	R.I負担金	人頭分担金	190,000 前期@110円/\$×39人、後期@110円/\$×41人
		小 計	190,000
		予備費	184,563
	合 計	9,689,563	

2009～2010年度 奉仕会計予算

(平成21年 7 月 1 日～平成22年 6 月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収 入 の 部	前 年 度 繰 越 金	3,090,333	
	ス マ イ ル	1,500,000	
	雑 収 入	1,500	預金利息等
	合 計	4,591,833	
支 出 の 部	職 業 奉 仕	150,000	
	社 会 奉 仕	150,000	
	国 際 奉 仕	600,000	
	新 世 代 奉 仕	350,000	
	記 念 品 代	250,000	
	予 備 費	3,091,833	
	合 計	4,591,833	

周年記念事業積立金会計予算

(平成21年 7 月 1 日～平成22年 6 月30日)

(単位 円)

	科 目	予 算 額	備 考
収 入 の 部	前 年 度 繰 越 金	544,676	
	会 員 積 立 金	480,000	前期@6,000×39人 後期@6,000×41人
	雑 収 入	1,000	預金利息等
	合 計	1,025,676	

==== クラブ管理運営委員会 =====

担当役員 青 柳 文四郎
委 員 各委員会委員長
担 当 委 員 長

○活動方針

当クラブも、CLP案を採用して、各委員会独自の計画を立てて実行し継続する様に致します。

○実施計画

副会長として、会長の方針にそって、各委員会に対して協力します。出席、会報プログラム、親睦、各委員会にCLPの充実を計る様に努めます。

==== (イ)クラブ会報委員会 =====

委 員 長 中島康次郎
副委員長 石川 健次
委 員 古木 勝治

○活動方針

クラブ会報活動委員会では、実施された例会及びクラブ行事の内容の記録を、会員に読み易く、見て楽しく、会員の気持ちが映る紙面作りを心がけます。会長ターゲットにリンクし親睦、奉仕に関わる情報を広報し、ロータリーの輪が広がり易い環境を整えます。

○実施計画

- (1) 読み手に負担をかけない4ページまでの構成と、投稿者の意に沿いつつ、容積に納まる紙面作りをします。
- (2) 奉仕の基本でもあるスマイル投稿を充実します。
- (3) 卓話、委員会報告等の投稿をお願いします。
- (4) 写真を多用する事でクラブの雰囲気伝え、親睦の輪、ロータリーの輪を広げる一助とします。

＝ (ロ)プログラム委員会 ＝

委員長 埴 満 子

副委員長 梅 野 房 子

委 員 原 嶋 賢一郎

○活動方針

「親睦と奉仕・ロータリーの輪を広げよう」の会長ターゲットを実践するため、例会を有意義に、そして楽しく、親睦が図れる場になるプログラムを提供できるように、活動をしたいと思います。

そのために、各委員会、そして会員全員の協力を得ながら、他クラブに誇れる、当クラブらしさが感じられるプログラムを組みたいと思います。

○実施計画

- (1) R I の月間テーマを意識したプログラムを組む。
- (2) 卓話はクラブ内から外から、驚きや、共感、感動の風を吹かすお話をして下さる方を探し、お願いし、楽しく興味ある例会になる様なプログラムを組む。
- (3) 毎月、一回程度、他委員会の協力も得て、テーブル毎、ロータリーについて語り合えるフリーディスカッションの場とする。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
7月	2	木	12:30	例会（1492回） 挨拶 第1回クラブ協議会	「就任にあたり」 高橋清会長 飯田豊太幹事	会長・幹事
	9	木	12:30	例会（1493回） クラブフォーラム	「クラブ管理運営について」	クラブ管理
	16	木	12:30	例会（1494回） 卓話	「地区大会に向けて」	後藤定毅 ガバナーエレクト
	23	木	12:30	例会（1495回） 卓話	「ガバナーズクラブに備えて」	後藤定毅 ガバナーエレクト
	30	木	12:30	例会（1496回） フリーディスカッション	「ロータリーあれこれ」	プログラム
8月	6	木	12:30	例会（1467回） 第2回クラブ協議会	「ガバナー公式訪問に備えて」	会長・幹事
	13	土	取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）			
	20	木	12:30	例会（1498回） ガバナー公式訪問	「奥津光弘ガバナーと共に」	会長・幹事
	27	木	12:30	例会（1499回） クラブフォーラム	「会員増強について」	会員増強
9月	3	木	12:30	例会（1500回） クラブフォーラム	「新世代育成について」	新世代育成
	10	木	12:30	例会（1501回） 卓話	「ギヴミーチョコレート」	伊藤英夫会員
	17	木	12:30	例会（1502回） 卓話	「ホームページについて」	IT担当
	24	木	12:30	例会（1503回） フリーディスカッション	「ロータリーの明日について」	プログラム

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
7 / 9 (木) 定例理事役員会	2 飯田 2 原嶋 20 北砂 24 郡司	30 北砂		1 小柳 17 高橋(清)	10 後藤 23 高橋(清)
会員増強および拡大月間 8 / 13 (木) 定例理事役員会	4 高橋(政) 12 古木 30 館盛	9 山崎	22 小柳	13 前原	3 石川 17 中西
新世代のための月間 9 / 10 (木) 定例理事役員会	28 前原	2 藤塚 26 郡司 28 古郡	3 松本 15 松崎 23 北砂	1 後藤 10 入江 20 寺田	9 長野 13 寺田 27 塙

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
10 月	1	木	12:30	例会（1504回） クラブフォーラム	「職業奉仕について」	職業奉仕
	8	木	地区大会（10/10～11）に振り替え			
	10 ） 11	土 ） 日	地区大会			
	15	木	12:30	例会（1505回） 第4回クラブ協議会	「地区大会を終えて」	会長・幹事
	22	木	12:30	例会（1506回）	「地区運営について」	藤塚勝明 地区幹事
	29	木	12:30	例会（1507回） フリーディスカッション	「ロータリーの現状を見て」	プログラム
11 月	5	木	12:30	例会（1508回） クラブフォーラム	「ロータリー財団月間にあたり」	R財団
	8	日		例会（1509回） 第1回家族会	「鎌倉寺院めぐり」	親睦活動
	12	水	家族会振り替え休会			
	19	木	12:30	例会（1510回） 卓話	「地区大会に備えて」	高橋政勝 実行委員長
	26	木	12:30	例会（1511回）	「イニシエーションスピーチ」	プログラム
12 月	3	木	12:30	例会（1512回）	年次総会	会長・幹事
	10	木	12:30	例会（1513回） クラブフォーラム	「家族月間にあたり」	親睦活動
	17	木	12:30	例会（1514回） 第2回家族会	クリスマス例会	親睦活動
	24	木	12:30	例会（1515回） 第5回クラブ協議会	「半期を終えて・半期報告」	会長・幹事

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
職業奉仕・米山月間 10/8(木) 定例理事役員会	4 小柳 21 佐藤	24 梅田 27 神作	7 岸 10 寺田 13 前原 18 入江 20 郡司 22 北島 24 梅田	1 石田 1 中島 18 石川	13 入江 16 藤塚 18 古木 26 中島 30 高橋(政)
ロータリー財団月間 11/12(木) 定例理事役員会	9 梅野 18 塙	6 番 23 石田 21 梅野義信 (主人) 29 高橋(政)	3 後藤 10 阿萬 18 山崎 21 橋本(日)	6 北砂 11 鈴木 13 橋本 27 郡司	1 北島 5 飯田 8 鎌田 10 梅野
家族月間 12/10(木) 定例理事役員会	5 岸 18 山崎	3 岸 4 館盛 17 松本 18 前原 24 中西	14 長野	6 佐藤 6 鎌田 10 松崎 15 松本 20 原嶋	3 松崎 8 郡司 10 館盛

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
1 月	7	木	12:30	例会（1516回）	高橋 清会長 「年頭にあたり」	会 長
	14	木	12:30	例会（1517回）		
	21	木	取り止め例会（クラブ定款第5条第1節（C）による）			
	28	木	12:30	例会（1518回） フリーディスカッション	「ロータリーに思うこと」	プログラム
2 月	4	木	12:30	例会（1519回） クラブフォーラム	「国際奉仕について」	国際奉仕
	11	木	祝日休会			
	18	木	12:30	例会（1520回） 卓話	「地区大会に備えて」	高橋政勝 実行委員長
	25	木	12:30	例会（1521回）		プログラム
3 月	4	木	12:30	例会（1522回） クラブフォーラム	「社会奉仕について」	社会奉仕
	11	木	I・Mに振り替え			
	13	土	第6グループI・M			
	18	木	12:30	例会（1523回）		プログラム
	25	木	家族例会振り替え			
	28	日	12:30	例会（1524回） 第3回家族会	「落語と中華を楽しむ」	親睦活動

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー理解推進月間 1/7(木) 定例理事役員会	4 松崎	1 石川	7 梅野	1 中西	6 山崎
	19 梅田	12 小柳	17 伊藤	1 塙	8 鈴木
	21 長野	23 上田	21 藤田	16 古木	
	21 北島	23 伊藤	26 古木	17 伊藤	
	23 上田	24 橋本	29 原嶋		
		29 松崎			
世界理解月間 2/18(木) 定例理事役員会	2 石川	17 古木	20 石川	25 上田	28 古郡
	7 中西	20 佐藤			
	12 高橋(清)				
	14 入江				
	15 青柳				
識字率向上月間 3/11(木) 定例理事役員会	5 横澤	21 高橋(清)	17 中島	1 古郡	3 神作
	6 神作	21 鎌田	19 中西	4 飯田	4 岸
	18 伊藤	22 青柳	21 青柳	8 横澤	15 橋本
	19 古郡	27 阿萬	23 佐藤	19 鎌田	28 小柳
	19 鎌田		26 飯田		
	31 番		31 神作		

月	日	曜日	時間	事 項	内 容	担 当
4 月	1	木	12:30	例会（1525回） クラブフォーラム	「ロータリー雑誌について」	雑 誌
	8	木	12:30	例会（1481回）	「イニシエーションスピーチ」	プログラム
	15	木	12:30	例会（1527回） 卓話	「地区運営について」	藤塚勝明 地区幹事
	22	木	12:30	例会（1528回） 卓話	「地区大会に備えて」	高橋政勝 実行委員長
	29	木		祝日休会		
5 月	6	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		
	13	木	12:30	例会（1529回） 卓話	「創立記念日にあたり」	プログラム
	20	木	12:30	例会（1530回） 卓話	「ガバナーズクラブに備えて」	後藤定毅 ガバナーエレクト
	27	木	12:30	例会（1531回）		
	30	日	9:00	三クラブ合同集会	クリーンウォーキング&バーベキュー	会長・幹事
6 月	3	木	12:30	例会（1532回） フリーディスカッション	「職業奉仕について」	職業奉仕
	10	木	12:30	例会（1533回） 第7回クラブ協議会	「年度終了にあたり」	会長・幹事
	17	木	12:30	例会（1534回） 挨拶	「一年を顧みて」	会長・幹事
	24	木		取り止め例会（クラブ定款第5条第1節(C)による）		

特 別 事 項	誕 生 日		結 婚 記 念 日	創 業 記 念 日	入 会 記 念 日
	会 員	夫 人			
ロータリー雑誌月間 4/8(木) 定例理事役員会	11 藤塚	10 横澤	2 藤塚	1 番	9 梅田
	20 鈴木	11 後藤	3 上田	1 藤田	18 番
		17 寺田	10 高橋(政)	1 梅田	20 原嶋
		21 北島	18 古郡	1 岸	23 石田
		30 藤田	29 横澤	1 山崎 1 高橋(政) 1 青柳 8 館盛 29 梅野	
5/13(木) 定例理事役員会	15 藤田	11 中島	7 石田	17 藤塚	12 前原
	15 橋本	28 入江	15 鎌田	22 北島	25 佐藤
	22 中島	28 原嶋	18 館盛		
			21 番		
			27 高橋(清)		
親睦活動月間 6/10(木) 定例理事役員会	3 石田	8 飯田		10 神作	13 横澤
	11 後藤	9 長野		21 長野	21 青柳
	14 寺田			28 阿萬	23 伊藤
					23 上田
					23 北砂 23 藤田 23 松本

—— (ハ)親睦活動委員会 ——

委員長 伊 藤 英 夫
副委員長 松 崎 正 実
委 員 北 島 照 介
鎌 田 稔
阿 萬 正 巳

○活動方針

本年度会長方針「親睦と奉仕、広げようロータリーの輪」のテーマに各委員会と連係を計り会員相互特に委員会の会員は信頼関係を深め例会は勿論クラブの主宰するあらゆる奉仕活動にも会員一同成果が上がります様頑張る所存です。

○実施計画

家族会の開催

本人誕生日 御婦人誕生日 結婚記念日

創業記念日 入会記念日

以上会員のお祝いを全員で気持ちを表わす。

—— (ニ)スマイルボックス担当委員会 ——

担当委員長 舘 盛 道 明
副委員長 原 嶋 賢一郎

○活動方針

ロータリー活動の原点、会員同志の親睦を深める。2009～2010高橋年度の活動方針です。会員同士、お互いに幸せをそして喜びを共有し、ロータリーを語り、汗をかき、大いに活動を期待し、その喜びの中からスマイルをお願いしたい。

○実施計画

奉仕活動の基となる、奉仕資金をより多く達成させる為、スマイルをしたくなる様な雰囲気創りを創造いたします。

＝ (ホ)出席担当 ＝

担当委員長 鎌 田 稔

副委員長 上 田 利 久

○活動方針

例会への出席がなければ会員相互の有意義な親睦を図ることは出来ませんが、そのためには促されて出席するのではなく会員自らの意志で出席することが大切だと思います。出席するという形式ではなく、会員の皆様が楽しく心待ちするような例会となるように努力、協力させて頂きたいと思います。

○実施計画

各委員会と連携をとり、例会は当然として各会合や行事に積極的に出席するように活動します。

==== 会員増強・会員維持委員会 =====

委員長 鈴木 洋子

副委員長 北 砂 富 三

委員 橋 本 日 吉

○活動方針

会長ターゲットである「親睦と奉仕。広げようロータリーの輪」の基にロータリーを少しでも多くの人に知ってもらえる様努力します。

○実施計画

ロータリーを知ってもらうには、会員の皆様に情報を提供していただく事は勿論、広報委員会をはじめ皆様に協力いただき、ロータリーへの認知度を高めていきたいと思えます。

==== (イ)職業分類担当 =====

担当委員長 郡 司 守

○活動方針

百年に一度の金融・経済危機と言われ、且つ又、ロータリーメンバーの減少に歯止めの掛からない現況下では、職業分類の充填未充填をとにかく言う時ではなく、奉仕の心そして会員間・家族的な親睦の図れる人材を、会員相互が理解を深め、どしどし紹介・推薦することです。

一業種一人の当初のロータリー精神のルールは、今や一業種五人まで許される程のロータリー会員の減少に苦慮している現状を打破して、本年度会長は、1名以上の会員増強を目標として掲げて居ります。目標達成に職業分類の充填未充填を乗り越えて推薦をお願い致します。時代を反映した新しい職業・専門職務など情報がありましたら委員会にご一報頂ければ幸いです。

==== (ロ)会員選考担当 =====

担当委員長 藤 塚 勝 明

○活動方針

会員数の減少傾向が続いている局面を迎えて、限られた紹介に対して如何にして会員増強に繋げていくかを考えるとき、必要な常識・共有できる価値観などを判断基準にして努めていきたい。

○実施計画

全会員よりのご紹介に期待し、速やかに行動をする。

職業分類一覧表

(平成21年7月1日)

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	番 桂 柳	大和中央外科
内 科 医		
小 児 科 医	上 田 利 久	ウエダ小児科
産 婦 人 科 医		
眼 科 医		
歯 科 医		
獣 医	松 崎 正 実	つきみ野松崎動物病院
普 通 銀 行	鎌 田 稔彦	(株)八千代銀行 大和支店
郵 便 事 業		
不 動 産 賃 貸	高 橋 政 勝	(有)高橋
損 害 保 険	北 砂 富 三	(株)オーシャニック
生 命 保 険	小 柳 智 裕	(有)F Pブレイン
弁 護 士		
司 法 書 士		
社 会 保 険 労 務 士		
税 理 士	阿 萬 正 巳	阿萬正巳税理士事務所
経 営 コ ン サ ル タ ン ト		
工 業 薬 品 販 売		
紳 士 服 販 売	前 原 一 男	(有)アローテラー
寝 具 販 売		
履 物 販 売		
家 具 販 売		
家 庭 用 電 気 器 具 販 売		
書 籍 販 売		
新 聞 販 売		
茶 販 売	梅 田 秀 雄	(株)渡辺園
酒 類 販 売		
コンビニエンスストア		

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	伊 藤 英 夫	(有)イトウ
中 華 料 理	石 川 健 次	(株)北京飯店
日 本 料 理		
ホ テ ル 業		
ク リ ー ニ ン グ 業		
観 光 事 業		
自 転 車 販 売	長 野 俊 八	サイクルセンターナガノ
自 動 車 販 売		
自 動 車 整 備		
ガ ソ リ ン ス タ ン ド		
プ ロ パ ン ガ ス 販 売		
印 刷 業		
機 械 部 品 製 造	後 藤 定 毅	フジ工業(株)
設 備 機 械 輸 出		
電 子 部 品 製 造		
宗 教 家	舘 盛 道 明	定方寺
画 業		
農 業	古 木 勝 治	古木農園
幼 稚 園		
学 習 塾		
運 送 業	古 郡 清	(有)緑運輸
物 流 代 行 業	神 作 彰	石井運輸(株)
不 動 産 管 理	山 崎 賢 二	(有)山崎事務所
不 動 産 取 引	飯 田 豊 太	(有)大和地所
貸 ビ ル 業		
貸 倉 庫	高 橋 清	(有)文が岡商事
ク	郡 司 守	(株)ゲンジ
インテリアコーディネーター		
建 築 設 計		
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	藤田商事(有)
土 木 業	寺 田 五 六	(株)寺田土木
木 造 建 築	藤 塚 勝 明	(有)藤塚工務店
住 宅 建 築	塙 満 子	カムホーム(株)

職 業 分 類	会 員 名	事 業 所 名
総 合 建 設 業	横 澤 創	ニッケン建設(株)
住 宅 設 備	岸 幸 博	岸木工(有)
建 具 製 造 販 売		
冷 暖 房 空 調 設 備		
ガ ス 機 器 エ ン ジ ニ ア	石 田 忠 良	(有)イシダ熱器
水 道 工 事		
電 気 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有)中西商店
通 信 ケ ー ブ ル 工 業		
内 装 材 料 販 売	青 柳 文四郎	(株)和光堂
生 コ ン ク リ ー ト 製 造		
通 信 設 計		
プ ラ ス チ ッ ク 加 工 業	佐 藤 信 夫	(株)アペックスポリマー
ダ ン ボ ー ル 製 造		
ネ ッ ト ワ ー ク 機 器 販 売	橋 本 日 吉	(株)東邦通信システムズ
制 御 機 器 設 計 ・ 製 作		
弁 理 士		
洋 楽 器 販 売	鈴 木 洋 子	(株)スズキピアノ商会
自 動 車 学 校	入 江 公 敏	大和自動車学校
レ ー ザ ー 加 工		
葬 祭 業	梅 野 房 子	(株)林間葬祭
建 築 金 物 販 売	原 嶋 賢一郎	(株)大黒屋
葬 儀 貸 式 場 経 営	中 島 康次郎	(株)東京葬祭
生 花 小 売 業	北 島 照 介	(株)きたじま

充 填 職 業 40

未充填職業 43

==== 会場監督 (S A A) =====

正 山 崎 賢 二
副 松 崎 正 実
岸 幸 博

○活動方針

我がクラブの良き伝統を受け継ぎ、秩序および品位ある中にも笑顔あふれる会合の運営に努めます。

また、普段の例会を会員相互の理解と友情を促進するための場として充分活用したいと考えています。

○実施計画

- (1) 例会の司会・進行を担当します。
- (2) 例会場内での禁煙・携帯電話の禁止等、ロータリアンとしての基本的マナーを推奨します。
- (3) ゲスト・ビジターをクラブ全員で歓迎する雰囲気づくりに努めます。
- (4) 2 か月ないし 3 か月ごとに席替えを実施します。

≡≡≡ 奉仕プロジェクト委員会 ≡≡≡

担当理事	中	西	功
委 員	各委員会委員長		
	担 当 委 員 長		

○活動方針

CLPの基本理念に基づいて、各奉仕委員会がより地域に密着した活動が出来る様バックアップし、クラブの活性化を計りたい。

奉仕プロジェクト委員会に所属する各委員会の名称をそれぞれ

職業奉仕担当委員会

社会奉仕担当委員会

国際奉仕担当委員会

次世代育成担当委員会

とし、奉仕プロジェクト委員会が統括する。

≡≡≡ (イ)職業奉仕担当委員会 ≡≡≡

委員長	中	西	功
副委員長	石	田	忠 良
委 員	藤	田	重 成
	梅	田	秀 雄

○活動方針

職業奉仕の実践は会員個人の資質に寄る所が大きい為、その理念と「四つのテスト」の啓蒙が不可欠と思われる。

○実施計画

- (1) 卓話、会報、会合等のあらゆる機会を通して啓蒙を行う。
- (2) 職業奉仕の倫理基準の高い企業及び個人の紹介。

（ロ）社会奉仕担当委員会

委員長 神 作 彰
副委員長 藤 塚 勝 明
委員 寺 田 五 六
岸 幸 博

○活動方針

CLP導入により、奉仕プロジェクト委員会が各奉仕委員会を一本化にし、活性化をはかり地域に密着し浸透させることを念頭に活動することで、各委員会と協力しプロジェクトを組んでいきたいと思ひます。

○実施計画

- （１）明日を担う子どもたちのために、交通安全教室を通じ交通安全とマナーの向上を学習させる。
- （２）麻薬撲滅運動への取り組み。

（ハ）国際奉仕担当委員会

委員長 横 澤 創
副委員長 番 桂 柳
委員 中 島 康次郎
北 島 照 介

○活動方針

奉仕プロジェクト委員会の統括の元、国際交流、国際親善を積極的に進めてまいります。

○実施計画

- （１）カナダ・モントリオール国際大会へ多くの会員の参加協力（団長、後藤定毅がバナーエレクト）
- （２）東慶州ＲＣとの合同事業、マッチンググラントの研究、推進。
- （３）姉妹クラブ友好委員会との連携、協力。

==== (二) 姉妹クラブ友好担当 =====

担当委員長 橋 本 日 吉

東慶州ロータリークラブとの友好姉妹締結をして、四半世紀が過ぎ、双方共に良い関係が継続維持されています。この伝統を貴重な財産とし、今年度も奉仕の理想に結ばれた更に発展性のある事業や国際奉仕委員会との協力連携で、国際親善や平和に寄与すべく、相互友好を強固に深めていきたいと思ひます。

==== (ホ) 新世代育成担当委員会 =====

委員長 石 川 健 次

副委員長 小 柳 智 裕

委 員 古 木 勝 治

○活動方針

大和中 R C では、伝統的に青少年の健全育成に力を注いで参りました。

近年は姉妹クラブとの密な協力を頂き、中学生・高校生の海外スポーツ交流を実施し、青少年交換の受け入れ高校とは独自の海外派遣事業などで信頼関係を築き、地域でもロータリー活動が認知されてきました。

今年度も高橋会長の運営活動にのっとり、青少年関連の奉仕活動に参加してもらうことで会員間の親睦を深め、内外にロータリーの輪を広げたいと思ひます。

○実施計画

- (1) 時節柄、費用のかかる派遣事業などは控え、今年度も地域に継続的に期待されている事業として、交通安全を啓蒙する「交通安全教室」を、米海軍厚木基地内のシャーリーランハム小学校と市内の小学校との交流事業として企画します。
- (2) その他、関連する事業が発生すれば他の委員会とも連携して活動します。

ロータリー財団委員会

担当理事 入 江 公 敏
副委員長 高 橋 政 勝
委 員 寺 田 五 六

○活動方針

プログラムへの積極的参加や財政的貢献を通じ、財団を支援する活動を実施します。

- (1) ロータリー財団目標を達成する。
- (2) ロータリー財団について会員への教育。
- (3) 財政的支援を会員に奨励する。
- (4) 地区およびロータリー財団管理委員会の財団目標を会員へ伝達する。

○実施計画

- (1) 年次寄付の目標額 1 人 \$ 180 の達成
- (2) 次年度に補助金を利用できるよう、効果的な奉仕活動の募集
- (3) 財団プログラム等の会員へ情報宣伝活動

(イ) 米山奨学委員会

委員長 前 原 一 男
副委員長 後 藤 定 毅
委 員 藤 田 重 成

○活動方針

米山奨学事業は1953年東京ロータリークラブで、日本最初のロータリークラブ創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。日本独自の事業で規模、実績ともに民間最大の留学生奨学団体です。

勉学、研究を志して日本に在留している外国人学生に対し、奨学金を支給し社会参加と社会貢献の意識を育て、彼らが将来国際平和に貢献する人となることを期待しています。

○実施計画

- (1) 会長運営方針でも取上げて頂いているように米山奨学寄附金目標達成の為 1 人 20,000円をお願いする。
- (2) 奨学生及び学友の活動状況などの資料を米山奨学会事務局より求め会員へ報告する、その事により米山奨学金制度を強く認識していただき、米山功労者への道筋を照らしたい。

≡≡≡ クラブ広報委員会 ≡≡≡

担当理事 古 郡 清
委 員 各委員会委員長
担 当 委 員 長

広報委員会の役目はクラブの奉仕活動についての情報を会員や地域の人に知らすこと
であります。会員に対しては「ロータリーの友」やクラブの「ホームページ」を通じて
知ってもらい、地元や地域社会など一般の人々には地方紙、タウン紙などのメディアを
利用してロータリーの活動を知ってもらいます。

その結果、広報活動を通じて新しい仲間を勧誘することが可能です。

しかし、一番大切な事は、それぞれ会員の日頃の活動によって、ロータリーを地域の
人々に知ってもらうことです。

雑誌委員会、IT推進委員会、情報委員会と協力しあい広報活動をします。

≡≡≡ (イ)広報・雑誌委員会 ≡≡≡

委員長 高 橋 政 勝
副委員長 北 砂 富 三
委 員 郡 司 守
神 作 彰

○活動方針

ロータリーの友は、ロータリーに関する情報の宝庫であり会員にロータリー知識を得
る唯一の公式雑誌でもあります。

今年度は他の委員会と連携して会員がこの雑誌をもっと親しく講読が出来、身近なも
のになるよう活動をしていきたいと思ひます。

○実施計画

- (1) 毎月発行される「ロータリーの友」の内容を簡単に説明し、会員に親しんでも
らう。
- (2) クラブ内の推奨できる事業を実施後その内容「ロータリーの友」に投稿をして
行きたい。

（ロ）IT 担当

担当委員長 山 崎 賢 二

○活動方針

前年度より引き続き、IT活用の利点や活用方法をPRしてゆきたいと考えています。
また、前年度作成のクラブホームページを更に充実したものへと進化させていきたいと
思います。

○実施計画

- （１）例会を通してホームページ作成までの経過報告およびホームページの内容解説
をします。
- （２）ホームページの内容を更に充実するための調査・研究・実践を継続します。

（ハ）ロータリー情報

担当委員長 梅 田 秀 雄

○活動方針

今年度高橋清会長ターゲット「親睦と奉仕。広げようロータリーの輪」に基づいて、
例会出席と各種行事に参加することの意義をロータリー情報として伝えて行ければと思
っています。

○実施計画

- （１）例会プログラムの中でロータリー情報を伝える。
- （２）他の委員会と連携して、新会員が早くクラブに溶け込めるような機会を作る。

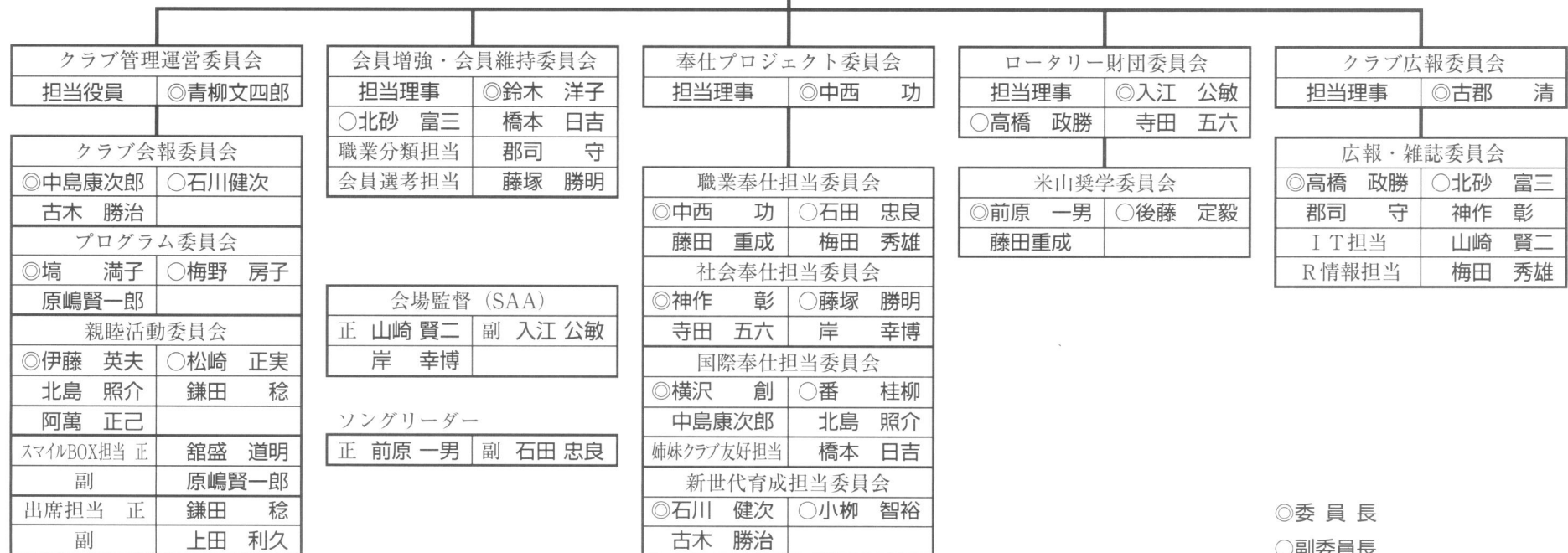
大和中ロータリークラブ委員会構成表

会 長	高橋 清	理事	会員増強・会員維持	鈴木 洋子
副 会 長	青柳文四郎	理事	奉仕プロジェクト	中西 功
会長エレクト	佐藤 信夫	理事	ロータリー財団	入江 公敏
幹 事	飯田 豊太	理事	クラブ広報	古郡 清
会 計	長野 俊八	理事	副 幹 事	小柳 智裕
会 場 監 督	山崎 賢二	理事	直 前 会 長	梅田 秀雄

2010～11 ガバナーエレクト	後藤 定毅
地 区 危機管理委員	後藤 定毅
地 区 広報委員	石川 健次
地 区 国際奉仕副委員長	藤塚 勝明

会計監査	番 桂柳
会計監査	松崎 正実

理 事 会
12名



◎委 員 長
○副委員長

会 員 名 簿 (アルファベット順)

(別表 (2))

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名		役職名	TEL
			生 年 月 日	年令	郵便番号	事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号	自宅住所		TEL
A	1	アオヤギ プンシロウ 青 柳 文四郎	内装材料販売		(株)和光堂		取締役	275-0101
			昭 3.2.15	81	242-0006	大和市南林間1-15-11	Ⓔ	275-2592
			平 15.6.19	6	242-0013	大和市深見台4-6-11		263-2227
	2	アマン マサミ 阿 萬 正 巳	税理士		阿萬正巳税理士事務所		所長	261-4567
			昭 36.4.2	47	242-0021	大和市中央4-6-27	Ⓔ	261-4573
			平 21.4.9	0	252-0804	藤沢市湘南台5-3-8		0466-43-7982
B	3	バン ケイリユウ 番 桂 柳	外科医		大和中央外科		院長	261-6509
			昭 6.3.31	78	242-0021	大和市中央5-2-7	Ⓔ	261-6509
			昭 60.4.18	24	242-0021	大和市中央5-2-7		261-6509
F	4	フジタ シゲナリ 藤 田 重 成	鉄骨建築		藤田商事(有)		取締役	274-7066
			大 10.5.15	88	242-0006	大和市南林間1-5-15	Ⓔ	275-5294
			昭 53.6.23	31	242-0006	大和市南林間1-5-15		274-3931
	5	フジツカ カツアキ 藤 塚 勝 明	木造建築		(有)藤塚工務店		代表取締役	263-7323
			昭 19.4.11	65	242-0017	大和市大和東1-9-20	Ⓔ	264-6943
			昭 61.10.16	22	242-0017	大和市大和東1-9-20		261-1740
	6	フルゴオリ キヨシ 古 郡 清	運送業		(有)緑運輸		代表取締役	261-5580
			昭 18.3.19	66	242-0021	大和市中央7-16-15	Ⓔ	261-4572
			昭 60.2.28	24	242-0017	大和市大和東1-10-15		261-0327
	7	フルキ カツハル 古 木 勝 治	農業		古木農園		代表	276-0801
			昭 11.8.12	72	242-0002	大和市つきみ野3-3-13	Ⓔ	276-0288
			昭 54.10.18	29	242-0002	大和市つきみ野3-3-11		274-7632
G	8	ゴトウ サダキ 後 藤 定 毅	機械部品製造		フジ工業(株)		代表取締役	251-6100
			昭 18.6.11	66	228-0004	座間市東原2-16-26	Ⓔ	229-3659
			昭 55.7.10	28	243-0023	厚木市戸田1086		228-2157
	9	ゲンジ マモル 郡 司 守	貸倉庫		(株)ゲンジ		代表取締役	045-641-7336
			昭 8.7.24	75	242-0012	大和市深見東1-4-31	Ⓔ	045-753-0750
			再昭63.12.8	20	235-0021	横浜市磯子区岡村1-19-30		045-753-0750
H	10	ハシモト ヒヨシ 橋 本 日 吉	ネットワーク機器販売		(株)東邦通信システムズ		代表取締役	276-5828
			昭 25.5.15	59	242-0007	大和市中央林間1-10-7	Ⓔ	264-8585
			平 13.3.15	8	242-0002	大和市つきみ野1-6-3-606		277-0818
	11	ハナワ ミツコ 塙 満 子	住宅建築		カムホーム(株)		代表取締役	262-9201
			昭 15.11.18	68	242-0029	大和市上草柳6-7-10	Ⓔ	262-5422
			平 13.9.7	7	242-0029	大和市上草柳6-7-10		262-9201
	12	ハラシマ ケンイチロウ 原 嶋 賢一郎	建築金物販売		(株)大黒屋		代表取締役	262-0106
			昭 25.7.2	58	242-0018	大和市深見西3-6-22	Ⓔ	263-6738
			平 18.4.20	3	242-0018	大和市深見西3-6-22		262-0106
I	13	イイダ トヨタ 飯 田 豊 太	不動産取引		(有)大和地所		代表取締役	263-8880
			昭 18.7.2	65	242-0013	大和市深見台4-11-2	Ⓔ	263-3408
			昭 62.11.5	21	242-0013	大和市深見台4-11-2		263-3408
	14	イシダ タダヨシ 石 田 忠 良	ガス機器エンジニア		(有)イシダ熱器		代表取締役	276-5321
			昭 12.6.3	72	242-0005	大和市西鶴間7-11-10		276-5428
			昭 62.4.23	22	242-0005	大和市西鶴間7-11-9		275-3740

分類	番号	(フリガナ) 氏 名	職 業 分 類		事業所名	役職名	TEL
			生 年 月 日	年令	郵便番号 事業所所在地		FAX
			入会年月日	年数	郵便番号 自宅住所		TEL
I	15	イシカワ ケンジ 石 川 健 次	中華料理		(株)北京飯店	代表取締役	261-7160
			昭 28.2.2	56	242-0021 大和市中央2-4-18	Ⓔ	261-0127
			平 1.8.3	20	242-0021 大和市中央2-9-11		263-7470
	16	イトウ ヒデオ 伊 藤 英 夫	スーパーマーケット		(有)イトウ	代表取締役	263-3000
			昭 13.3.18	71	242-0005 大和市西鶴間4-7-5	Ⓔ	263-5100
			昭 53.6.23	31	242-0005 大和市西鶴間4-7-5		263-5100
	17	イリエ キミトシ 入 江 公 敏	自動車学校		大和自動車学校	常務取締役	262-1212
			昭 30.2.14	53	242-0018 大和市深見西4-3-29	Ⓔ	261-9911
			平 17.10.13	3	253-0024 茅ヶ崎市平和町2-10		0467-87-8721
K	18	カマタ ミノル 鎌 田 三 念	普通銀行		八千代銀行 大和支店		261-3241
			昭 27.3.19	57	242-0016 大和市大和南1-4-4		264-0612
			平 19.11.8	1	206-0034 東京都多摩市鶴牧6-1-3-107		042-375-8100
	19	カミサク アキラ 神 作 彰	物流代行業		石井運輸(株)	代表取締役	277-5656
			昭 19.3.6	65	242-0007 大和市中央林間1-5-6	Ⓔ	277-5711
			昭 58.3.3	26	242-0007 大和市中央林間1-5-6		277-5656
	20	キシ ユキヒロ 岸 幸 博	住宅設備		岸木工(有)	代表取締役	261-4537
			昭 24.12.5	59	242-0017 大和市大和東3-2-13	Ⓔ	264-7476
			平 5.3.4	16	242-0017 大和市大和東3-2-13		261-4537
	21	キタサゴ トミゾウ 北 砂 富 三	損害保険		(株)オーシャニック	代表取締役	042-746-1810
			昭 7.7.20	76	228-0814 相模原市南台3-18-1 トミービル	Ⓔ	042-748-9069
			昭 53.6.23	31	242-0006 大和市南林間5-2-16		274-1230
	22	キタジマ テルユキ 北 島 照 介	生花小売業		(株)きたじま 北島生花店		275-7893
			昭 29.1.12	55	242-0002 大和市つきみ野3-25-2	Ⓔ	275-8718
			平 19.11.1	1	242-0002 大和市つきみ野3-10-3		274-5988
	23	コヤナギ トモヒロ 小 柳 智 裕	生命保険		(有)F P ブレイン	代表	271-1212
			昭 34.10.4	49	242-0007 大和市中央林間3-5-15-202	Ⓔ	276-1718
			平 14.3.7	7	242-0005 大和市西鶴間5-1-25-210		262-5474
M	24	マエハラ カズオ 前 原 一 男	紳士服販売		(有)アローテラー	代表取締役	263-8239
			昭 16.9.28	67	242-0021 大和市中央1-2-5	Ⓔ	263-8974
			昭 58.5.12	26	242-0024 大和市福田5-14-6		267-7066
	25	マツザキ マサミ 松 崎 正 実	獣医		つきみ野松崎動物病院	院長	275-4556
			昭 25.1.4	59	242-0002 大和市つきみ野4-11-14	Ⓔ	275-4552
N	26	ナカジマ ヤスジロウ 中 島 康次郎	セレモニーホール 葬儀貸式場		(株)東京葬祭 大和式礼	所長	264-4111
			昭 25.5.22	59	242-0017 大和市大和東2-9-13	Ⓔ	264-3896
			平 18.10.26	2	120-0005 東京都足立区綾瀬2-1-19		03-3838-3320
	27	ナガノ シュンタ 長 野 俊 八	自転車販売		サイクルセンターナガノ	代表	274-4439
			昭 9.1.21	75	242-0006 大和市南林間1-19-11	Ⓔ	275-1039
			昭 57.9.9	26	242-0006 大和市南林間1-19-11		274-4439
	28	ナカニシ イサオ 中 西 功	建築材料販売		(有)中西商店	代表取締役	274-4655
			昭 20.2.7	64	242-0004 大和市鶴間2-14-5	Ⓔ	274-4490
			昭 53.8.17	30	242-0004 大和市鶴間2-14-5		274-9765
S	29	サトウ ノブオ 佐 藤 信 夫	プラスチック加工業		(株)アベックスポリマー	代表取締役	045-470-1661
			昭 19.10.21	64	222-0033 横浜市港北区新横浜2-14-2 ダヴィンチ新横浜214 4F	Ⓔ	045-470-1771
			平 12.5.25	9	225-0029 横浜市青葉区すすき野1-6-60		045-909-5888

歴代会務分担表

◎委員長 ○副委員長 △委員

□=役員・理事 エレクト=会長エレクト 職業=職業奉仕 社会=社会奉仕 国際=国際奉仕 新世=新世代奉仕(青少年) クラブ=クラブ奉仕 会報=クラブ会報
 親睦=親睦活動 プログ=プログラム スマイル=スマイルボックス 組織=組織部門 選考=会員選考 増強=会員増強 分類=職業分類 情報=ロータリー情報 環境=環境保全
 財団=ロータリー財団 米山=米山奨学 姉妹ク=姉妹クラブ友好 ポリオ=ポリオプラス 職情=職業情報 世界=世界親睦理解 監査=会計監査 ☆=地区委員

会 員 名 入会年月日	78～79	79～80	80～81	81～82	82～83	83～84	84～85	85～86	86～87	87～88	88～89	89～90	90～91	91～92	92～93	93～94	94～95	95～96	96～97	97～98	98～99	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06	06～07	07～08	08～09	09～10	
藤 田 重 成 S53年 6 月23日	◎広報 ○情報	○情報 △財団	△計 △情報 △会報	◎選考	◎社会 ○米山	○広報	副会長 ◎クラブ	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報	◎情報	△増強	◎雑誌	副SAA	◎増強	△雑誌	○職業	△米山	△国際	△財団	△財団	◎米山	△出席	△スマイル	監査 ○雑誌	△雑誌 監査	△選考	○環境	△広報 △職業	△職業	△広報 雑誌	△職業 △米山	
郡 司 守 S53年 6 月23日	◎増強 ○会報	◎国際 ○会報	◎プログ △出席 △スマイル	副幹事 △プログ	幹事 退会						△親睦 (再入会) S63.12.8	○プログ △国際	○職業	副会長 ◎クラブ	◎親睦	○米山	◎SAA	○職業	△会報	◎財団	◎スマイル	S A A	○選考	◎職業	◎雑誌 △選考	◎出席	監査 ○米山	△親睦 監査	○新世	◎選考 △新世	会計	△分類 △広報	
伊 藤 英 夫 S53年 6 月23日	◎出席 △情報	◎青少 ○情報	◎情報	◎親睦 △財団	◎社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	◎SAA	◎増強	◎スマイル △増強	◎選考	△会報	副SAA	◎プログ	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報 △増強 ☆	◎情報	○米山	△職業	△スマイル	○国際	○広報	△選考	◎出席 ○環境	△計 △選考	○スマイル ○環境	◎雑誌 ○社会	◎増強 △新世	◎親睦 監査	△国際 監査	◎親睦	
北 砂 富 三 S53年 6 月23日	◎情報 ○国際	幹事	◎SAA △増強 △財団	◎広報 △社会	◎国際 △雑誌	△選考	◎スマイル	△プログ	◎社会 △クラブ	◎選考 △広報 △スマイル	エレクト ○クラブ ☆	会長 △情報	○情報 ☆	◎情報 △国際	◎会報 ☆	△プログ	○米山 △IM	◎社会 ☆	○職業	◎増強	○クラブ	○スマイル	◎雑誌	○出席 △社会	◎増強 ○SAA	◎スマイル 監査	監査 ○選考	△計	○財団	△親睦	◎クラブ 管理 副会長	◎増強 ○広報	
上 田 利 久 S53年 6 月23日	◎雑誌 △分類	◎会報 ○分類	◎国際 ○分類	△広報 △職業	◎プログ △出席	副会長	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報	◎情報 △ポリオ △雑誌	◎ポリオ △出席	◎選考	副SAA	○職業	○出席	◎雑誌 ☆	△職情	◎財団	○親睦	○増強	◎環境 △社会	△雑誌 ○財団	△広報	○親睦	◎広報 △職業	○雑誌	◎プログ △社会	◎米山 △国際 監査	◎選考 監査	○新世	○社会	○出席	
寺 田 五 六 S53年 6 月23日	◎選考 ○職業	◎職業 △増強	◎増強 △米山	副会長	会長 △情報	○情報 △国際	◎情報	○増強	○広報	△クラブ △増強	◎広報	△社会	△国際	△選考 △スマイル	◎財団	△国際	○選考	△職業	△雑誌	○米山	○選考	△環境		△親睦 (再入会) H13.9.13	△国際	△財団	△財団	◎雑誌	○国際	△米山	△米山	△社会 △財団	
中 西 功 S53年 8 月17日	△親睦	◎親睦 △増強 △社会	◎米山 △青少	△計 ○青少	◎青少 △プログ	◎出席	○国際 △選考	◎財団	○職業	△会報 △米山	◎国際	副幹事 △スマイル	幹事	○職情	◎SAA	○会報	○職情	◎職業	○クラブ △雑誌	◎雑誌 △クラブ	エレクト ◎組織	会長 △情報	○情報 ☆	◎情報 △プログ	◎会報 △情報	◎プログ	◎プログ △会報	◎SAA △増強	○広報 △環境	△財団	◎社会	◎奉仕プロ ◎職業	
古 木 勝 治 S54年10月18日		△親睦	○親睦 ○プログ	◎会報	副幹事	幹事	◎SAA	◎社会	◎財団	◎増強	副会長 ◎クラブ	△職情	◎選考	△米山	◎広報	エレクト ○クラブ	会長 △情報	○情報 ☆	◎情報	△選考	△職業	○青少	監査 △雑誌	監査 ◎スマイル	◎財団	△環境	◎雑誌	△プログ △米山	◎社会 △選考	△広報	△職業	△会報 △新世	
後 藤 定 毅 S55年 7 月10日			△親睦	◎プログ ○国際	◎会報 ○社会	△計	◎親睦	◎国際	◎スマイル	◎社会 △プログ	副幹事 副SAA	幹事	○ポリオ △出席	◎SAA	○国際 △広報	◎社会	◎雑誌	○クラブ	エレクト ◎組織	会長 △情報	○情報 ☆	◎情報	副会長 ◎クラブ ☆	◎新世	◎親睦	◎選考	◎財団 ○スマイル	◎職業	◎雑誌	◎会報	◎プログ ☆	○米山	
高 橋 政 勝 S55年10月30日			△親睦	◎出席 △財団	◎選考 △青少	◎社会 △青少	◎米山 ○青少	◎青少	副幹事 副SAA	幹事	○プログ △クラブ	◎SAA	◎会報	△増強	◎職業	○環境	エレクト ◎組織	会長 △情報	○情報	◎情報	◎選考	◎増強	監査 △新世	副会長 ◎クラブ	◎プログ ○国際	◎財団 △国際	○雑誌 △国際	◎広報 △姉妹ク	◎国際	△計 ◎スマイル	◎親睦	○財団 ◎広報	
松 崎 正 実 S56年12月 3 日				△親睦	○スマイル △親睦	◎親睦 △社会	○出席	◎会報	△計	◎親睦	○財団	◎財団	◎国際	◎会報 △分類	◎分類	◎分類	◎増強	副幹事 △環境	幹事	△分類	◎米山 ○分類	◎分類 スマイル	◎SAA	○職業 △雑誌	◎環境 △会報	○広報 △出席	エレクト 組織	会長 △情報	◎財団 △情報 △国際	◎プログ △情報	◎広報 監査	○親睦 監査	
長 野 俊 八 S57年 9 月 9 日				△親睦	○増強 △職業	◎雑誌 △青少	◎出席 △青少	◎青少	◎親睦 △青少	◎親睦	◎プログ	副幹事 △会報	幹事	△分類	◎SAA ○分類	◎分類 △社会	副会長 ◎クラブ	◎スマイル	△会報	○プログ	◎選考	△スマイル	◎環境 ○社会	エレクト ◎組織	会長 △情報	○情報	◎情報 △国際	◎SAA △財団	◎米山 △国際	◎分類	△計		
神 作 彰 S58年 3 月 3 日				△親睦	△親睦	◎分類 △スマイル	◎分類 △SAA	米山	◎広報	◎職情 ○職業	○出席	○米山	◎国際	副幹事 △プログ	幹事	△分類 △国際	◎SAA ○分類	◎分類	◎分類 △広報	○国際	◎会報	◎選考 ○クラブ	◎財団	◎出席 △国際	◎スマイル	会長	◎増強 ○情報	◎情報 △姉妹ク △国際	◎職業	◎米山	◎社会 △広報		
前 原 一 男 S58年 5 月12日				△親睦	△親睦	○社会	○親睦 △青少	◎会報 △青少	◎青少	◎スマイル △青少	副SAA ○ポリオ	◎プログ	副幹事 △会報	幹事	△分類 △社会	◎会報 ○分類	◎分類	副会長 ◎クラブ	◎SAA	○親睦 △選考	◎職業	◎雑誌 △スマイル	エレクト ◎組織	会長 △情報	○情報	◎情報 △親睦	◎国際	◎スマイル △プログ	◎増強	◎クラブ △広報	◎米山		
古 郡 清 S60年 2 月28日					△親睦	△親睦	○親睦 △青少	◎増強 △青少	◎青少	◎親睦	◎増強	○スマイル	◎社会	○広報 △会報	◎財団	◎環境	副幹事 △SAA	幹事	△分類 △会報	◎SAA	◎分類 ○プログ	◎SAA	◎分類 ○プログ	◎環境 △環境	◎選考	副会長 ◎クラブ	◎米山 △会報	エレクト 組織	会長 △情報	◎出席 △情報 △選考	◎会報 △広報	◎クラブ △広報	
番 桂 柳 S60年 4 月18日						△親睦	△職業	△スマイル	◎雑誌	◎職業	◎スマイル	副会長 ◎クラブ	△プログ	副SAA	◎米山	◎プログ	○広報	◎会報	◎選考	◎出席 △クラブ	◎雑誌	◎国際	△財団	△職業	○財団	△雑誌	◎米山 △親睦	◎出席	◎選考 △姉妹ク	△増強 監査	○国際 監査		
藤 塚 勝 明 S61年10月16日								△親睦	◎財団 △親睦 △青少	○青少	◎青少	◎職情	◎米山	△会報	◎親睦	◎広報	△計 △出席	◎プログ	副幹事 △SAA	幹事	◎環境 △分類	◎会報 ○分類	◎SAA ○分類	◎分類 △親睦	◎新世 △親睦	◎増強 ○国際	副会長 ◎クラブ	エレクト 組織	会長 △情報	◎姉妹ク △情報 ☆	◎選考 △社会		
梅 田 秀 雄 S62年 4 月 9 日								△親睦	△親睦	△青少	○青少	◎青少	○親睦	○社会 △世界	○職業	◎親睦	◎会報	◎社会	副SAA	◎財団	副幹事 △青少	幹事	△分類 △財団	◎米山 ○分類	◎分類 ◎SAA	◎国際	◎増強 △スマイル	◎会報 △選考 △クラブ	エレクト ◎国際	会長	△職業 △情報		
石 田 忠 良 S62年 4 月23日							△親睦	△親睦	△社会	◎広報	△財団	◎職業	△親睦 △国際	○国際	◎スマイル	◎親睦	△環境	◎国際	△計 △プログ	△財団 △広報	◎増強	◎出席	◎米山	○国際	△米山	△会報 △新世代 △社会	◎環境 △姉妹ク △社会	副会長 ◎クラブ	◎SAA △新世	○職業			
高 橋 清 S62年 7 月23日								△親睦	△職業	◎会報	◎親睦	○社会	◎米山	○社会	◎社会	○財団	◎出席	◎職業	◎SAA	◎プログ	副幹事	幹事	△分類	◎国際 ○分類	◎SAA ○分類	◎分類 ○プログ	◎増強 △出席	◎新世	エレクト	会長			
飯 田 豊 太 S62年11月 5 日								△親睦	△出席	◎親睦	◎スマイル	○財団	○職業 △社会	◎職業	◎環境	◎出席 △会報	◎選考	△計	◎親睦 △クラブ	△増強 △プログ	◎米山 △国際	◎環境 △広報	◎スマイル △環境	◎社会 △会報	副会長 ◎クラブ	◎新世代	◎親睦 △SAA	○職業	副幹事 △出席 △社会	幹事			
石 川 健 次 H 1 年 8 月 3 日										△親睦	△会報	△親睦	△職業	◎国際	◎世界	◎社会	◎会報	◎親睦 △クラブ	◎米山	◎会報	◎親睦 △クラブ	◎新世 △SAA	◎分類 ○新世	◎分類 ○新世	◎プログ	◎SAA	◎財団 △国際	◎増強 △国際	◎姉妹ク △情報 ☆	◎選考 △社会	◎IT ○プログ	◎SAA △広報	
横 澤 創 H 3 年 6 月13日												△親睦	△親睦	△会報 △米山	○親睦	◎出席	◎青少 △プログ	◎青少	◎職業 △スマイル	◎会報 △クラブ	△SAA	◎新世	◎増強	◎増強 ○プログ	◎雑誌 △出席	◎社会 ○出席	◎副幹事 △姉妹ク	幹事 △分類	◎プログ ○職業	◎SAA	◎国際		
岸 幸 博 H 5 年 3 月 4 日														△親睦	△親睦	△出席	△広報 △国際	◎広報	○青少	◎スマイル	△親睦 △社会	◎選考 △会報	◎社会	◎増強 △職業	◎選考 ○プログ	◎財団 △雑誌 △国際	◎職業	○姉妹ク	幹事	△SAA △社会			
山 崎 賢 二 H 6 年 1 月 6 日															△親睦	△親睦	△会報	◎スマイル	◎会報 △クラブ	◎SAA	◎国際	◎会報 △職業	◎増強	◎職業	◎社会 IT担当	◎会報	△SAA △財団	副幹事 ○出席	幹事 △職業	◎IT ○プログ	◎SAA △広報		
館 盛 道 明 H10年12月 3 日																					△親睦	△会報	◎親睦	△SAA			幹事	◎スマイル △分類 △姉妹ク	副会長 ◎奉仕 ○分類	◎職業 ◎SAA	◎奉仕プロ ◎職業	◎スマイル	
佐 藤 信 夫 H12年 5 月25日																						△親睦	△親睦	△職業	○社会 △雑誌	◎職業	◎財団 △国際	◎出席 △会報	△計 △米山 △国際	◎広報 △SAA	◎スマイル	エレクト	
橋 本 日 吉 H13年 3 月15日																							△親睦	△親睦	△広報 △新世	◎プログ ○新世	◎職業	◎親睦 △姉妹ク	◎新世	◎国際	◎会報 △財団	△増強 △姉妹ク	
塙 満 子 H13年 9 月 7 日																								△親睦	△親睦 △増強	◎親睦 △増強	◎新世	◎会報	○雑誌 ○スマイル	○社会	◎財団 △プログ	◎プログ	
小 柳 智 裕 H14年 3 月 7 日																								△親睦	△親睦	○親睦 △新世	◎親睦	○職業 △出席	◎社会	◎スマイル	◎国際	副幹事 ○新世	

退 会 者 名 簿

No.	氏 名	入 会 年 月 日	退 会 年 月 日	現役逝去
1	坪 井 源二郎 君		S 53. 5. 18	
2	淡 谷 光 彦 君	S 53. 6. 23	S 53. 12. 21	
3	蜂 屋 良 平 君	S 53. 6. 23	S 58. 7. 14	
4	猪 熊 唯 夫 君	S 53. 6. 23	H 5. 9. 25	○
5	亀 谷 志 郎 君	S 53. 6. 23	H 2. 5. 10	
6	小 菅 兼三郎 君	S 53. 6. 23	S 54. 3. 15	
7	宮之原 寛 一 君	S 53. 6. 23	S 54. 6. 28	
8	小笠原 一 四 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 11	
9	大 高 安 男 君	S 53. 6. 23	S 59. 12. 20	
10	佐 藤 実 君	S 53. 6. 23	S 57. 6. 24	
11	須 藤 正 道 君	S 53. 6. 23	S 54. 5. 17	
12	寺 田 伍 六 君	S 53. 6. 23	H 11. 12. 18	
13	郡 司 守 君	S 53. 6. 23	S 58. 4. 21	
14	富 澤 重 徳 君	S 53. 6. 23	H 9. 12. 20	
15	矢 野 久 元 君	S 53. 6. 23	S 54. 1. 23	○
16	長谷川 清 一 君	S 53. 6. 23	H 15. 2. 6	○
17	土 屋 翁 三 君	S 53. 6. 23	H 13. 7. 5	
18	芦 田 敬 治 君	S 53. 6. 23	H 15. 10. 9	○
19	辻 國 明 君	S 53. 7. 27	H 14. 7. 22	○
20	袴 田 和 雄 君	S 53. 8. 10	S 54. 10. 4	
21	近 藤 富士男 君	S 53. 12. 14	H 14. 9. 2	○
22	石 渡 英二郎 君	S 54. 1. 18	H 10. 5. 21	
23	木 崎 健 祐 君	S 54. 2. 22	S 55. 9. 11	
24	有 澤 昭 二 君	S 54. 3. 22	H 12. 6. 30	
25	山 田 旭 君	S 54. 4. 5	S 57. 6. 30	
26	保 田 達 君	S 54. 4. 12	S 57. 7. 29	
27	竹之内 弘 美 君	S 54. 4. 12	S 59. 11. 1	
28	伊 藤 正 男 君	S 54. 5. 10	S 58. 6. 30	
29	布 施 光 雄 君	S 54. 5. 10	H 7. 6. 26	
30	高 山 正 雄 君	S 54. 10. 25	S 55. 10. 9	
31	竹 山 健 一 君	S 54. 12. 6	S 57. 7. 24	
32	松 本 三 郎 君	S 55. 7. 31	H 5. 6. 30	
33	伊 藤 宣 男 君	S 55. 9. 11	S 60. 12. 5	

No.	氏 名	入 会 年 月 日	退 会 年 月 日	現役逝去
34	合 田 良 徳 君	S 55. 10. 2	S 59. 3. 15	
35	細 野 順 造 君	S 55. 10. 2	S 61. 6. 26	
36	二 見 長 幸 君	S 55. 10. 30	H 8. 6. 27	
37	国 方 隆 君	S 55. 11. 6	S 57. 5. 13	
38	池 田 武 和 君	S 55. 12. 18	S 58. 6. 30	
39	山 中 忠 誠 君	S 55. 12. 18	S 58. 12. 16	
40	三 浦 泰 之 君	S 56. 4. 9	S 62. 5. 28	
41	古田土 勝 美 君	S 56. 6. 18	H 9. 6. 26	
42	福 本 国 雄 君	S 56. 11. 19	S 59. 2. 16	
43	杉 山 元次郎 君	S 57. 6. 24	S 59. 2. 23	
44	上 田 勝 君	S 57. 6. 24	S 59. 6. 28	
45	上 村 幹 雄 君	S 57. 7. 15	H 12. 11. 16	○
46	三 国 誠 文 君	S 57. 7. 15	S 57. 10. 14	
47	古 川 巖 君	S 57. 8. 26	H 7. 5. 18	
48	菊 池 康 公 君	S 57. 8. 26	H 16. 4. 15	
49	原 田 穆 君	S 57. 11. 18	H 2. 9. 27	
50	小 島 健 一 君	S 57. 11. 18	H 7. 5. 11	
51	金 井 大 輔 君	S 58. 3. 31	S 62. 12. 3	
52	種ヶ島 実 君	S 58. 4. 7	S 59. 8. 13	○
53	南 川 忠 常 君	S 58. 6. 9	S 60. 4. 4	
54	青 木 豊 治 君	S 58. 12. 15	S 59. 5. 14	
55	岡 本 重 之 君	S 59. 1. 5	S 61. 6. 26	
56	清 水 洋 三 君	S 59. 3. 29	H 4. 6. 30	
57	三 浦 泰 之 君	S 59. 7. 12	S 62. 5. 28	
58	木 村 誠 二 君	S 59. 9. 6	H 11. 12. 18	
59	児 玉 清 君	S 59. 9. 6	H 10. 5. 7	
60	染 谷 信 行 君	S 59. 9. 6	S 61. 1. 16	
61	小 林 勇 君	S 59. 9. 6	H 15. 12. 31	
62	大 西 昭 君	S 60. 2. 28	S 61. 6. 26	
63	岩 田 一 夫 君	S 60. 3. 7	H 5. 6. 30	
64	竹 本 正 俊 君	S 60. 3. 7	S 60. 10. 16	
65	渡 辺 吉三郎 君	S 60. 3. 7	S 60. 12. 5	
66	加 藤 好 秋 君	S 60. 4. 18	H 1. 4. 20	
67	藤 沢 孝 行 君	S 60. 6. 6	S 60. 8. 22	
68	熊 倉 光 男 君	S 60. 7. 4	S 63. 3. 10	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
69	飯 島 順一郎 君	S 60. 10. 24	S 62. 4. 9	
70	千 田 徹 君	S 61. 10. 9	H 1. 9. 7	
71	栗 原 宣 明 君	S 62. 6. 18	H 1. 3. 2	
72	茅 根 勉 君	S 62. 8. 13	H 4. 6. 25	
73	本 田 博 司 君	S 62. 7. 9	H 13. 11. 30	
74	吉 岡 恒 夫 君	S 62. 10. 29	H 4. 7. 16	
75	佐 藤 正 勝 君	S 63. 3. 17	H 4. 4. 30	
76	千 葉 庄 平 君	S 63. 4. 7	H 2. 6. 7	
77	大 門 宏 光 君	S 63. 4. 7	H 2. 12. 13	
78	中 田 洲 平 君	S 63. 4. 7	S 63. 5. 19	
79	渡 井 和 郎 君	S 63. 4. 7	S 63. 10. 20	
80	佐 藤 公 男 君	S 63. 4. 21	H 3. 3. 14	
81	加 藤 真 義 君	H 1. 2. 23	H 11. 7. 22	
82	立 岡 英 一 君	H 1. 5. 11	H 2. 6. 28	
83	村 野 安 範 君	H 1. 5. 11	H 3. 6. 27	
84	柿 本 伊佐男 君	H 1. 9. 14	H 13. 6. 30	
85	薩 田 信次郎 君	H 1. 11. 9	H 14. 12. 31	
86	松 本 二 郎 君	H 1. 12. 14	H 2. 6. 28	
87	蒲 生 文 衛 君	H 2. 5. 10	H 16. 6. 30	
88	竹 原 繁 男 君	H 2. 6. 14	H 14. 6. 30	
89	星 輝 明 君	H 3. 6. 20	H 5. 6. 18	
90	中 島 繁 男 君	H 3. 9. 26	H 6. 6. 9	
91	迫 田 洋一郎 君	H 3. 12. 19	H 10. 6. 25	
92	山 下 精 一 君	H 3. 12. 19	H 6. 12. 29	
93	依 田 儀 一 君	H 4. 11. 12	H 17. 6. 30	
94	山 口 敏 彦 君	H 5. 6. 24	H 9. 6. 12	
95	望 月 英 男 君	H 5. 6. 24	H 8. 5. 28	
96	中 村 彰 君	H 6. 5. 12	H 11. 7. 22	
97	小 野 孝 男 君	H 7. 2. 9	H 13. 6. 30	
98	中 稻 隆 次 君	H 7. 5. 25	H 10. 6. 25	
99	牧 野 弘 君	H 7. 6. 15	H 14. 6. 30	
100	目 黒 雄 介 君	H 8. 3. 7	H 16. 6. 30	
101	佐 藤 伴 道 君	H 8. 3. 21	H 10. 3. 12	
102	菅 井 正 博 君	H 8. 5. 2	H 10. 4. 9	
103	佐々木 万次郎 君	H 8. 7. 18	H 11. 12. 18	

No.	氏 名	入会年月日	退会年月日	現役逝去
104	村 松 令 隆 君	H 9. 2. 20	H 14. 11. 11	
105	阿 部 豪 一 君	H 9. 4. 3	H 13. 12. 27	
106	岡 部 明 君	H 10. 6. 11	H 13. 12. 27	
107	清 水 登米彦 君	H 10. 7. 2	H 11. 3. 30	
108	小 倉 弘 君	H 12. 5. 17	H 14. 3. 31	
109	高 橋 潔 君	H 13. 3. 8	H 16. 6. 30	
110	水 落 悟 君	H 14. 10. 3	H 16. 7. 29	
111	間 山 進 也 君	H 14. 11. 7	H 16. 6. 30	
112	疋 田 哲 夫 君	H 14. 4. 25	H 17. 10. 13	
113	長谷川 清 君	H 9. 8. 28	H 17. 10. 31	
114	鈴 木 博 士 君	H 11. 5. 6	H 17. 12. 31	
115	鈴 木 久次郎 君	S 53. 12. 7	H 18. 6. 30	
116	橋 本 健 彦 君	S 56. 7. 16	H 18. 6. 30	
117	村 松 令 隆 君	H 17. 4. 14(再)	H 18. 10. 31	
118	工 藤 俊 治 君	H 14. 3. 7	H 18. 7. 1	
119	椋 茂 廣 君	H 1. 7. 13	H 18. 12. 31	
120	澤 登 次 郎 君	H 17. 11. 10	H 19. 9. 30	
121	蒔 田 誠三郎 君	H 7. 9. 7	H 20. 6. 30	
122	桑 原 治 夫 君	H 18. 7. 13	H 20. 6. 30	
123	茂 木 諄 三 君	S 18. 2. 18	H 21. 4. 30	○
124	松 本 忠 明 君	S 53. 6. 23	H 21. 5. 14	

ク ラ ブ 運 営 規 程 集

大和中ロータリークラブ定款

大和中ロータリークラブ細則

大和中ロータリークラブ内規

大和中ロータリークラブ

2009年 7 月 1 日現在

大和中ロータリークラブ定款

第1条 定義

本条の語句は、本定款で使われる場合、他に明確に規定されない限り、次の意味をもつものとする。

1. 理事会：本クラブの理事
2. 細 則：本クラブの細則
3. 理 事：本クラブの理事会メンバー
4. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
5. R I：国際ロータリー
6. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 名称

本会の名称は、大和中ロータリークラブとする。(国際ロータリー加盟会員)

第3条 クラブの所在地域

本クラブの所在地域は、次の通りとする：大和市

《但し第4条綱領以下は、「標準ロータリークラブ定款」によるものとする。》
(2008年版手続要覧)

附 則

1. 本定款は、昭和53年5月9日から適用する。
2. 本定款は、平成20年7月1日更新

大和中ロータリークラブ細則

第1条 定義

1. 理事会：本クラブの理事会
2. 理 事：本クラブの理事会メンバー
3. 会 員：名誉会員以外の本クラブ会員
4. R I：国際ロータリー
5. 年 度：7月1日に始まる12カ月間

第2条 理事会

本クラブの管理主体は本クラブの会員12名により成る理事会とする。すなわち会長、副会長、会長エレクト（または、後任者が選挙されていない場合は会長ノミニー）、幹事、会計、会場監督である。本細則第3条第1節に基づいて選挙された5名の理事、および直前会長を加えることができる

第3条 理事および役員等の選挙

第1節 役員・理事及び会計監査を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる役員は会員に対して、会長（次々年度）、副会長、幹事、会計、および5名の理事と会計監査を指名することを求めなければならない。その指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができる。もし指名委員会を設けるように決定されたならば、かかる委員会はクラブの定めるところに従って設置されなければならない。適法に行われた指名は各役職ごとにアルファベット順に投票用紙に記載されて年次総会において投票に付せられるものとする。投票の過半数を獲得した会長、副会長、幹事、会計及び会計監査がそれぞれ該当する役職に当選したものと宣言されるものとする。投票の過半数を得た5名の理事候補が理事に当選したものと宣言されるものとする。前記の投票によって選挙された会長候補は、会長ノミニーとなるものとし、その選挙の後の次の7月1日に始まる年度に、会長ノミニーのまま理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に、会長に就任するものとする。会長ノミニーは、会長として就任する前の年度の7月1日に、会長エレクトの役職名が与えられるもの

とする。

第2節 選挙された役員および理事に、直前会長を加えて理事会を構成するものとする。選挙によって決定した次年度理事会は、1週間以内に会合してクラブ会員の中から会場監督を務める者を選任しなければならない。

第3節 理事会またはその他の役職に生じた欠員は、残りの理事の決定によって補填すべきものとする。

第4節 役員エレクト（会長エレクト及び会長ノミニーを除く）または理事エレクトの地位に生じた欠員は、残りの理事エレクトの決定によって補填すべきものとする。

第4条 役員の任務

第1節 会長。本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会長の任務とする。

第2節 会長エレクト。理事会のメンバーとしての任務およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会長エレクトの任務とする。

第3節 副会長。クラブ管理運営委員会の委員長を務めると共に、会長不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合において議長を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副会長の任務とする。

第4節 幹事。幹事の任務は、会員の記録を整理保管し、会合における出席を記録し、クラブ、理事会および委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録をつくってこれを保管し、全会員の人頭分担金および半期報告を提出した7月1日または1月1日よりも後にクラブ会員に選ばれた正会員の比例人頭分担金を記載した毎年1月1日および7月1日現在の半期会員報告、会員資格変更報告、毎月の最終例会の後15日以内に地区ガバナーに対して行わなければならない月次出席報告を含む、諸種の義務報告をRIに対して行い、RI公式雑誌の購読料を徴収してこれをRIに送金し、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって幹事の任務とする。

第5節 会計。すべての資金を管理保管し、毎年1回およびその他理事会の要求あるごとにその説明を行い、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって会計の任務とする。その職を去るに当たっては、会計はその保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者または会長に引き継がなければならない。

第6節 会場監督。通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務を行うことをもって会場監督の任務とする。

第7節 副幹事。副幹事は会長エレクトを補佐し、幹事不在の場合は本クラブの会合および理事会の会合に置いて代理を務め、その他通常その職に付随する任務を行うことをもって副幹事の任務とする。

第5条 会合

第1節 年次総会。本クラブの年次総会は毎年12月第1週の例会に開催されるものとする。そしてこの年次総会において次年度の役員および理事の選挙を行わなければならない。

第2節 本クラブの毎週の例会は木曜日12時30分に開催するものとする。例会に関するあらゆる変更または例会の取消はすべてクラブの会員全部に然るべく通告されなければならない。本クラブの瑕疵なき会員はすべて、名誉会員（または標準ロータリー・クラブ定款に基づき、出席を免除された会員）を除き、例会の当日、その出席または欠席が記録され、その出席は、本クラブまたは他のロータリー・クラブにおいて、その例会に充当された時間の少なくとも60パーセントに出席していたことが実証されるか、もしくは標準ロータリー・クラブ定款第9条第1節と第2節の規定によるものでなければならない。

第3節 会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会および例会の定足数とする。

第4節 定例理事会は毎月当該年度の決定により定められた例会後に開催されるものとする。臨時理事会は会長がその必要ありと認めたとき、または2名の理事からの要求があるとき、会長によって招集されるものとする。但しその場合然るべき予告が行われなければならない。

第5節 理事会の過半数をもって理事会の定足数とする。議事の決議が同数のときは議長が決するところによる。

第6条 入会金および会費

第1節 入会金は100,000円とし、入会承認に先んじ納入すべきものとする。

但し、標準ロータリークラブ定款第11条に該当する場合はこの限りではない。

第2節 会費は年額230,000円とし、各半年ごとの各支払額のうちの一部は各会員のRI公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年2回7月1日および1月1日に納入すべきものとする。

第3節 途中入会の会費については月割りとし、退会の場合は返還をしないものとする。

また、会費納入に関し特別な事情が生じた場合には、理事会において決定するものとする。

第7条 採決の方法

本クラブの議事は、役員および理事を投票によって選挙する場合を除き、口頭による採決をもって処理されるものとする。理事会は、特定の決議案を、口頭ではなく投票により処理することを決定することができる。

第8条 四大奉仕部門

四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動のための理念と実践の枠組みである。それはクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、および国際奉仕である。本クラブは、四大奉仕部門の各部門に積極的に取り組むこととする。

第9条 委員会

クラブ委員会は、四大奉仕部門に基づいた年次目標および長期目標を推進する責務を担う。会長エレクト、会長および直前会長は、指導の継続と計画の一貫性を図るよう協力すべきである。継続性を保持するため、可能であれば、委員会委員が同じ委員会を3年間務めるよう任命すべきである。会長エレクトは任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。委員長は同委員会の委員としての経験を有していることが推奨される。常任委員会は次の通り任命されるものとする。

- ・クラブ管理運営委員会

この委員会はクラブの効果的な運営に関連する活動を実施するものである。

- ・会員増強委員会

この委員会は、会員の勧誘と退会防止に関する包括的な計画を立て、実施するものである。

- ・奉仕プロジェクト委員会

この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的、および職業関係のプロジェクトを立案し、実施するものである。

- ・ロータリー財団委員会

この委員会は、寄付とプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、実施するものである。

- ・クラブ広報委員会

この委員会は、一般の人々にロータリーについての情報を提供し、クラブの奉仕プロジェクトと奉仕活動を広報する計画を立て、この計画を実施するものである。

その他、必要に応じて特別委員会（アドホック）を設けることができる。

特別委員会は下記の通りである。

- ①クラブ管理運営委員会の特別委員会として会報・プログラム・親睦活動の各委員会を設置する。
- ②奉仕プロジェクト委員会の特別委員会として職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代育成の各委員会を設置する。
- ③ロータリー財団委員会の特別委員会として米山奨学委員会を設置する。
- ④クラブ広報委員会の特別委員会として広報・雑誌委員会を設置する。
 - (a)会長は、職権上すべての委員会の委員となるものとし、その資格において委員会に付随するあらゆる特典をもつものとする。
 - (b)各委員会は本細則によって付託された職務および会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動してはならない。
 - (c)それぞれの委員長はその委員会の定例会合と活動に対して責任をもち、委員会の全活動について理事会に報告するものとする。

第10条 委員会の任務

会長は、自らの就任年度の諸委員会の任務を定め、見直すものとする。各委員会の任務を発表するにあたり、会長は適切なRI文書を参照するものとする。奉仕プロジェクト委員会はその年度計画を立てるにあたり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕及び新世代育成の部門を考慮に入れることとする。

各委員会は、毎年度の初めに設定された具体的な担当職務、明確な目標、行動計画の下に、年度中その実施に当たるものとする。会長エレクトは上述の通り、ロータリー年度の開始に先立ち、クラブ委員会のための推奨事項、担当職務、目標、計画を理事会に提示すべく準備するために、必要な指導を行うという主要な責務がある。

第11条 出席義務規定の免除

理事会に対して書面をもって、正当かつ十分な理由を具して申請することによって、会員は出席義務規定の免除が与えられ、一定期間を限り本クラブの例会出席を免除される。

第12条 財務

- 第1節 各会計年度の開始に先立ち、理事会はその年度の収支の予算を作成しなければならない。その予算は、これらの費目に対する支出の限度となるものとする。但し、理事会の議決によって別段の指示がなされた場合はこの限りでない。予算は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営に関する予算と、慈善・奉仕活動運営に関する予算である。
- 第2節 会計は本クラブの資金をすべて理事会によって指定される銀行に預金しなければならない。クラブ資金は2つの部分に分けられるものとする。すなわち、クラブ運営と奉仕プロジェクトに関する資金である。
- 第3節 すべての勘定書は、会計、もしくは権限をもつ役員によって支払われるものとする。ただし、これは他の2名の役員または理事が承認した場合のみとする。
- 第4節 すべての資金業務処理は、毎年1回会計監査によって全面的な検査が行われるものとする。
- 第5節 資金を預りあるいはこれを取り扱う役員は、本クラブの資金の安全保管に務めなければならない。
- 第6節 本クラブの会計年度は7月1日より6月30日に到る期間とし、会費徴収の目的のために、これを7月1日より12月31日に至る期間および1月1日より6月30日に至る期間の二半期に分けるものとする。人頭分担金とRI公式雑誌購読料の支払は、毎年7月1日および1月1日に、それぞれ当日の本クラブ会員数に基づいて行われるものとする。

第13条 会員選挙の方法

- 第1節 本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって、本クラブ幹事を通じ、理事会に提出されるものとする。移籍する会員または他クラブに属していた元クラブ会員は、元クラブによって正会員に推薦されてもよい。この推薦は、本条に別な定めのある場合を除き、漏らしてはならない。
- 第2節 理事会は、その被推薦者が標準ロータリー・クラブ定款の職業分類と会員資格の条件をすべて満たしていることを確認するものとする。
- 第3節 理事会は、推薦状の提出後30日以内にその承認または不承認を決定し、これをクラブ幹事を通じて、推薦者に通告しなければならない。
- 第4節 理事会の決定が肯定的であった場合は、被推薦者に対し、ロータリーの目的および会員の特典と義務について説明しなければならない。この説明

の後、被推薦者に対し、会員申込用紙に署名を求め、また、本人の氏名および本人に予定されている職業分類をクラブに発表することについて承諾を求めなければならない。

第5節 被推薦者についての発表後7日以内に、理事会がクラブ会員（名誉会員を除く）の誰からも、推薦に対し、理由を付記した書面による異議の申し立てを受理しなかった場合は、その人は、名誉会員でないなら、本細則に定める入会金を納めることにより、会員に選ばれたものとみなされる。

理事会に対し異議の申し立てがあった場合は、理事会は、次の理事会会合において、この件について票決を行うものとする。異議の申し立てがあったにもかかわらず、入会が承認された場合は、被推薦者は、名誉会員でないなら、所定の入会金を納めることにより、クラブ会員に選ばれたものとみなされる。

第6節 このような選挙後に、クラブ会長は、当該会員の入会式を行い、クラブ幹事は当該会員に対して会員証を発行し、ロータリー情報資料を提供するものとする。その他、会長もしくは幹事が新会員に関する情報をRIに報告し、会長が、当該新会員がクラブに溶け込めるよう援助する会員を1名指名し、同新会員をクラブ・プロジェクトまたは役目に配属する。

第7節 クラブは、標準ロータリー・クラブ定款に従い、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。

第14条 決議

クラブは、理事会によって審議される前に、本クラブを拘束するいかなる決議または提案を審議してはならない。もしかかる決議または提案がクラブの会合で提起されたならば、討議に付することなく理事会に付託しなければならない。

第15条 議事の順序

開会宣言

来訪者の紹介

来信、告示事項およびロータリー情報

委員会報告（もしあれば）

審議未終了議事

新規議事

スピーチその他のプログラム

閉会

第16条 改正

本細則は、定足数の出席する任意の例会において、出席会員の3分の2の賛成投票によって改正することができる。但し、かかる改正案の予告は当該例会の少なくとも10日前に各会員に郵送されていなければならない。標準ロータリー・クラブ定款およびRIの定款、細則と背馳するとき改正または条項追加を本細則に対して行うことはできない。

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける

大和中ロータリークラブ 内規

当クラブの運営を円滑にするため本内規を設ける

第1項 役員・理事及び会計監査の選挙

- (1)大和中ロータリークラブ細則（以下細則という）第3条の役員、理事及び会計監査の選挙に当たっては、会長は毎年11月の第1例会において、役員、理事及び会計監査候補者を設置することを会員に告知し、これを招集し議長を務めるものとする。
- (2)指名委員会は直前会長よりさかのぼり5名のパスト会長及び会長、会長ノミネー、幹事、副幹事の9名をもって構成されるものとする。定足数は過半数とし、また選出の方法は合議制として意見の一致しない場合は無記名多数決投票制とする。会長（次々年度）、及び副会長候補者は役員及び理事の経歴を有する者の中から選出し、その他の役員、理事及び会計監査候補者は、指名の時点で2年以上のロータリー歴を有する者の中から選出する。
- (3)指名委員会は選出を終えた役員、理事及び会計監査候補者を、毎年11月の最終例会において公表する。また任務を終えた指名委員会は解散する。
但し、クラブ細則第3条第4節により必要な場合は再度設置する。
- (4)指名委員会は役員及び理事候補者の選出に当たり、次の事項に留意するものとする。
 - (イ) 人事の公平と負担の平等を図るため、役員及び理事の任期は継続して3年以上に亘らないよう配慮する。
 - (ロ) 初めに会長（次々年度）候補者を選出し、副幹事の選出に当たっては、会長（次々年度）候補者の意見を尊重する。
- (5)会長エレクトは、細則第3条第2節の会場監督選出後の最初の例会において、選挙で当選した役員、理事、会計監査のそれぞれの担当役職を、会員に公表するものとする。
- (6)細則第3条第2節の会場監督の選出に当たっては、内規第1項（4）（イ）の指名委員会の留意事項を準用するとともに、候補者には会長または幹事の経験者が望ましい。

第2項 委員会等の構成

次期理事会は、次年度の開始される3ヶ月前までに各委員会の構成を終了させ、ソングリーダーの選出も図るものとする。

第3項 任務代行の順序

例会等、クラブの運営上で担当者が欠席または不都合により任務の遂行が出来ない場合、原則として副委員長、委員の順序、それも不可能な場合直前年度の担当者から順次さかのぼる順序で代行者を定めるものとする。

第4項 クラブ協議会の出席

本クラブにおけるクラブ協議会は、委員長のみにとどまらず原則として会員全員が出席するものとする。

第5項 新会員の所属委員会及び会合出席義務

新会員の所属する委員会は理事会で決定する。新会員は各委員会が開く会合及び勉強会に積極的に出席することとする。

第6項 諮問委員会

- (1)本クラブに会長及び歴代会長をもって構成する諮問委員会を置く。
- (2)諮問委員会の委員長は会長が務め、任期は1年とする。
- (3)諮問委員会は、理事会の諮問に対し答申を行うものとする。
- (4)理事会は上記答申を尊重しなければならないが、必ずしも拘束されるものではない。

第7項 事務局の出張費等

事務局員がクラブ行事のため出張するときは、旅費等の実費をクラブが負担し支給する。

第8項 各種記念品または謝礼

- (1)クラブの依頼したゲストスピーカーに対しては、謝礼として記念品または金一封をお車代として贈る。
 - (イ) 記念品…………… 5,000円相当
 - (ロ) 金一封…………… 10,000円
 - (ハ) 特別の場合は理事会で決定するものとする。
- (2)直前会長及び直前幹事となった時点において次のものを贈る。
 - (イ) 直前会長にダイヤ入りバッヂ
 - (ロ) 直前幹事にルビー入りバッヂ

第9項 慶弔規定

(1)慶事の場合の祝い金等は次の区分とする。

(イ) 会員及びその実子の結婚

クラブより…………… 20,000円

(ロ) 会員実子誕生

クラブより…………… 20,000円

(ハ) 会員の新規営業所・社屋・工場・店舗等の新築、開設

クラブより…………… 10,000円又は花輪かそれに代わる記念品

(ニ) 会員の自宅新築

クラブより…………… 10,000円又はそれに代わる記念品

(ホ) 会員が国の機関から功労表彰を受けたとき

クラブより…………… 記念品 (5,000円相当)

(ヘ) その他理事会が必要と認めた時は適宜決定する

(2)弔事の場合の弔慰金は次の区分とし、会長は速やかに全会員に連絡するものとする。

(イ) 会員死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員 1 人拠金10,000円

(ロ) 会員の配偶者死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員 1 人拠金 5,000円

(ハ) 会員の第一親等血族死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員 1 人拠金 2,000円

(ニ) 会員同居一親等姻族死亡の場合

クラブより花環一基、弔電及び会員 1 人拠金 1,000円

(ホ) その他理事会が必要と認めたとき

クラブより花環または弔電

(3)傷病または被災の場合の見舞金は次の区分とする。

(イ) 会員及び配偶者が傷病により 1ヶ月以上欠席または入院のとき

クラブより…………… 10,000円

(ロ) 火災等での被災のとき

自宅または事業所 クラブより…………… 30,000円

(ハ) その他理事会が必要と認めたときは適宜決定する

- (4)退会者の扱いを含め上記以外で必要と思われるときは、その都度理事会において決定する。
- (5)上記慶弔見舞金などに対する返礼は一切行わないこととする。

第10項 表彰

本クラブは、理事会が必要と認めたときは、クラブに功績のあった会員に対し表彰できるものとする。

第11項 皆出席表彰規定

- (1)本クラブ入会后 1 年又はそれ以上の皆出席者には次の通り表彰を行う。
欠席した場合は該当例会月を除き、翌月より積算した年数によって行う。
- (2)出席表彰は次の年度毎に行う。
- 1 年 スナップ止出席バッヂ (9 K)
 - 3 年 スナップ止出席バッヂ (14K)
 - 5 年 金色ネクタイ止
 - 7 年 カフスボタン
 - 10年 ダイヤ入り出席バッヂ
- 以後は 5 年毎とし、10,000円相当の記念品
- (3)上記記念品については出席委員会で検討し、理事会に諮り決定する。

第12項 内規の改廃

本内規の改廃は、定足数を満たす理事会の 3 分の 2 以上の賛成のもとに改廃することができる。

昭和53年 8 月10日	制定
昭和57年 8 月12日	一部改正
昭和61年 5 月 8 日	一部改正
昭和63年11月17日	一部改正
平成 2 年 1 月 1 日	一部改正
平成 7 年 2 月 9 日	一部改正
平成 8 年 5 月23日	一部改正
平成10年 7 月 1 日	一部改正
平成12年 6 月15日	一部改正
平成14年 7 月 1 日	一部改正
平成15年 6 月12日	一部改正
平成19年12月 6 日	一部改正